

主任児童委員の活動に関する  
アンケート調査  
報告書

2025(令和7)年6月

日本福祉大学社会福祉学部 小松理佐子研究室

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科 修士課程 水野澄子

## はじめに

主任児童委員制度は、1994年に創設されました。この制度は、少子化を背景に地域における児童及び妊産婦への相談・支援に関する児童委員への期待が高まる中で、児童福祉に関する事項を専門的に担当する児童委員を配置し、従来の区域を担当する児童委員と一体となった活動を展開することを目的に創設されました。

主任児童委員制度が創設されてから2024年で30年となりました。児童虐待や不登校、子どもの自殺、ヤングケアラー等、子ども・家庭をめぐる課題が深刻化する昨今、主任児童委員の役割はますます重要になっているといえます。ところが、主任児童委員からは、支援が必要な人の情報が得られないなど、活動のしづらさに関する声が聞かれています。

「主任児童委員の活動に関するアンケート調査」は、このような主任児童委員をめぐる状況を踏まえ、主任児童委員がやりがいをもって活動できる環境のあり方を検討することを目的に実施しました。調査は、水野澄子（日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻）が担当しました。

調査の実施にあたり、A県の主任児童委員の皆様、県並びに市町村民生委員児童委員協議会事務局の皆様にご多大なご協力いただきましたことに御礼申し上げます。

この報告書が主任児童委員をはじめとする民生委員・児童委員の皆様の活動のお役に立てることを願っています。

2025年6月

日本福祉大学社会福祉学部 小松理佐子

**<調査実施の概要> ..... 3**

- 1 調査目的
- 2 調査項目
- 3 調査期間
- 4 調査対象
- 5 調査方法
- 6 回収結果

**<調査結果> ..... 4**

**I あなたご自身について**

- 1 所属する自治体 ..... 4
- 2 主任児童委員の経験年数 ..... 5
- 3 区域を担当する児童委員の兼任 ..... 5
- 4 地域で務めた役員の経験歴 ..... 6
- 5 年齢 ..... 7
- 6 子どもを対象とする事業の参加 ..... 8

**II 行政機関などからの情報提供について**

- 1 参加している会議 ..... 10
- 2 役職者として参加している会議 ..... 12
- 3 「支援を必要としている人がどこにいるかわからない」 ..... 14
- 4 対面支援をする場合に求める個人情報項目 ..... 15
- 5 見守り支援をする場合に求める個人情報項目 ..... 16
- 6 地域の課題を話し合う場合に求める個人情報項目 ..... 17
- 7 個人情報保護法に関する研修 ..... 20

### Ⅲ 個人情報保護と情報共有について

1	対象者区分毎の情報共有の実態と要望	21
2	行政機関との関係	23
3	保育園・認定こども園・幼稚園等との関係	24
4	小学校・中学校との関係	25
5	区域担当の児童委員との情報共有	27
6	学校・行政等との情報連携に関する意見	28

### Ⅳ 個別支援活動の情報について

1	令和6年度中に携わった個別支援活動	29
2	対面支援の状況	31
3	対面支援事例の連携	33
4	見守り支援の状況	39
5	見守り支援事例の連携	41

### Ⅴ 主任児童委員活動と地域づくりについて

1	「子育ち・子育ての課題」の把握	47
2	「子育ち・子育ての課題」の解決意欲	48
3	個人情報の共有と地域づくり活動のつながり	49
4	主任児童委員活動に対する考え	50

参考資料 調査票

## ＜調査実施の概要＞

### 1 調査目的

近年、児童虐待や不登校、子どもの自殺等、子どもを取り巻く様々な問題が後を絶ちません。このような状況下、児童委員・主任児童委員の調査（厚生労働省 2021）によると、「支援を必要とする家庭が見えにくい（35.9%）」という報告があります。

そこで、主任児童委員活動における個人情報の共有や提供に関する実態及び要望を調査し、主任児童委員と関係機関等との情報連携のあり方を検討することを目的とします。

### 2 調査項目

- (1) あなたご自身について
- (2) 行政機関などからの情報提供
- (3) 個人情報保護と情報共有
- (4) 個別支援活動の情報
- (5) 主任児童委員活動と地域づくり

### 3 調査期間

2025（令和7）年3月1日から4月15日まで

### 4 調査対象

A県内 35市町の全主任児童委員 565人 （2025年2月時点）

### 5 調査方法

配布 市町の社会福祉協議会事務局に郵送し、定例会・会議等で配布  
回収 同封した返信用封筒で返送

### 6 回収結果

有効回収数（率） 429人 （75.9%）

< 調査結果 >

I 「あなたご自身」について

1 所属する自治体

Q 1 所属の自治体をご記入ください。

所属する自治体は、政令市の静岡市 99 人 (23.1%) と浜松市 97 人 (22.6%)、市は 204 人 (47.6%)、町は 29 人 (6.8%) となっている。

図表 1 所属する自治体一覧

自治体名	回答人数	割合	自治体名	回答人数	割合
静岡市	99	23.1%	伊豆市	5	1.2%
浜松市	97	22.6%	牧之原市	5	1.2%
富士市	31	7.2%	吉田町	3	0.7%
沼津市	22	5.1%	清水町	3	0.7%
焼津市	18	4.2%	西伊豆町	3	0.7%
富士宮市	16	3.7%	長泉町	3	0.7%
藤枝市	15	3.5%	河津町	2	0.5%
掛川市	14	3.3%	菊川市	2	0.5%
島田市	13	3.0%	御前崎市	2	0.5%
磐田市	13	3.0%	松崎町	2	0.5%
三島市	10	2.3%	南伊豆町	2	0.5%
御殿場市	8	1.9%	函南町	2	0.5%
伊豆の国市	7	1.6%	湖西市	1	0.2%
裾野市	7	1.6%	小山町	1	0.2%
袋井市	7	1.6%	森町	1	0.2%
熱海市	7	1.6%	川根本町	1	0.2%
伊東市	6	1.4%	東伊豆町	1	0.2%
			合 計	429	100.0%

## 2 主任児童委員の経験年数

### Q 2 主任児童委員としての通算の経験年数（令和7年3月現在）

令和7年3月現在の主任児童委員の経験年数は、1期目167人（38.9%）、2期目112人（26.1%）、3期目61人（14.2%）、4期目以上は87人（20.3%）となっている。

図表2 主任児童委員としての経験年数

総数：429人

単位：人

総数	3年未満 (1期目)	3～5年未満 (2期目)	6～8年未満 (3期目)	9年以上 (4期目以上)	無回答
429	167	112	61	87	2
100.0%	38.9%	26.1%	14.2%	20.3%	0.5%

## 3 区域を担当する児童委員の兼任

### Q 3 現在、区域担当の児童委員を兼任していますか。

主任児童委員は、児童委員の委嘱を受けているが、区域担当の児童委員を兼任しているかを聞いたところ、「兼任している」が32.4%、「兼任していない」が61.1%となっている。

図表3 児童委員（区域担当）の兼任

総数：429人

単位：人

総数	兼任している	兼任していない	無回答
429	139	262	28
100.0%	32.4%	61.1%	6.5%

#### 4 地域で務めた役員の経験歴

Q 4 地域で務めた経験がある役員はありますか。（複数選択可）

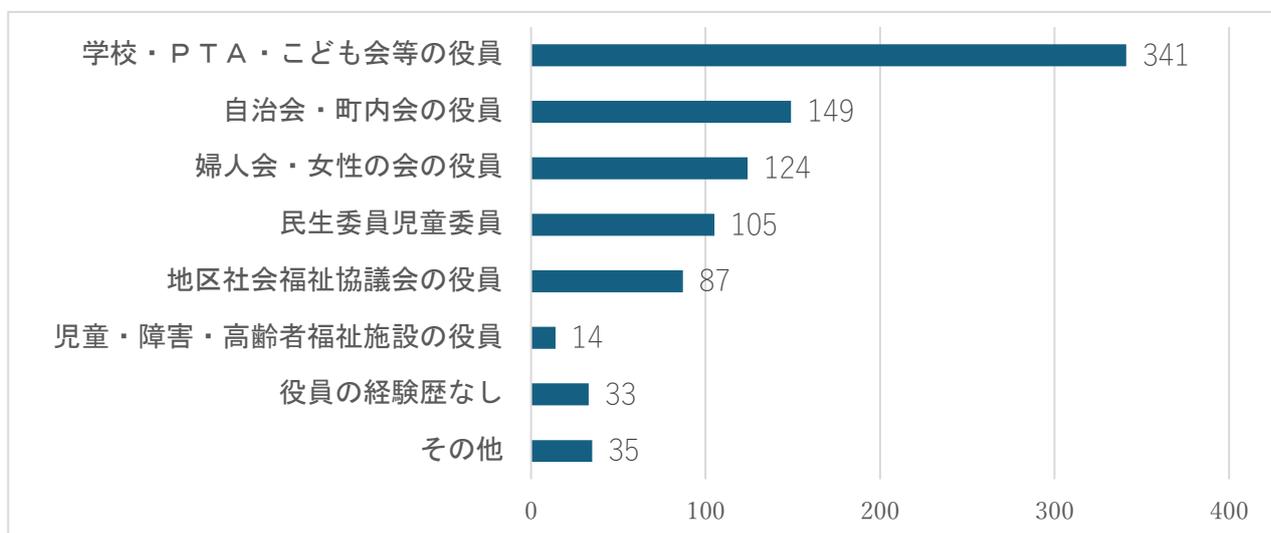
地域の役員歴を聞いたところ、「学校・PTA・子ども会等の役員」が341人で約8割が経験している。「自治会・町内会」が34.7%、「婦人会・女性の会」が29.0%、「民生委委員児童委員」が24.5%、「社会福祉協議会」が20.3%であり、施設関係者は少なく、役員の経験歴がない人が7.7%である。

図表4 地域の役員の経験歴（複数回答） 総数：429人

単位：人

項目	回答者数	割合
1 自治会・町内会の役員	149	34.7%
2 地区社会福祉協議会の役員	87	20.3%
3 婦人会・女性の会の役員	124	29.0%
4 学校・PTA・子ども会等の役員	341	79.5%
5 民生委員児童委員	105	24.5%
6 児童・障害・高齢者福祉施設の役員	14	3.3%
7 役員の経験歴なし	33	7.7%
8 その他	35	8.2%

図表5 地域の役員の経験歴（複数回答） 総数：429人



## 5 年齢

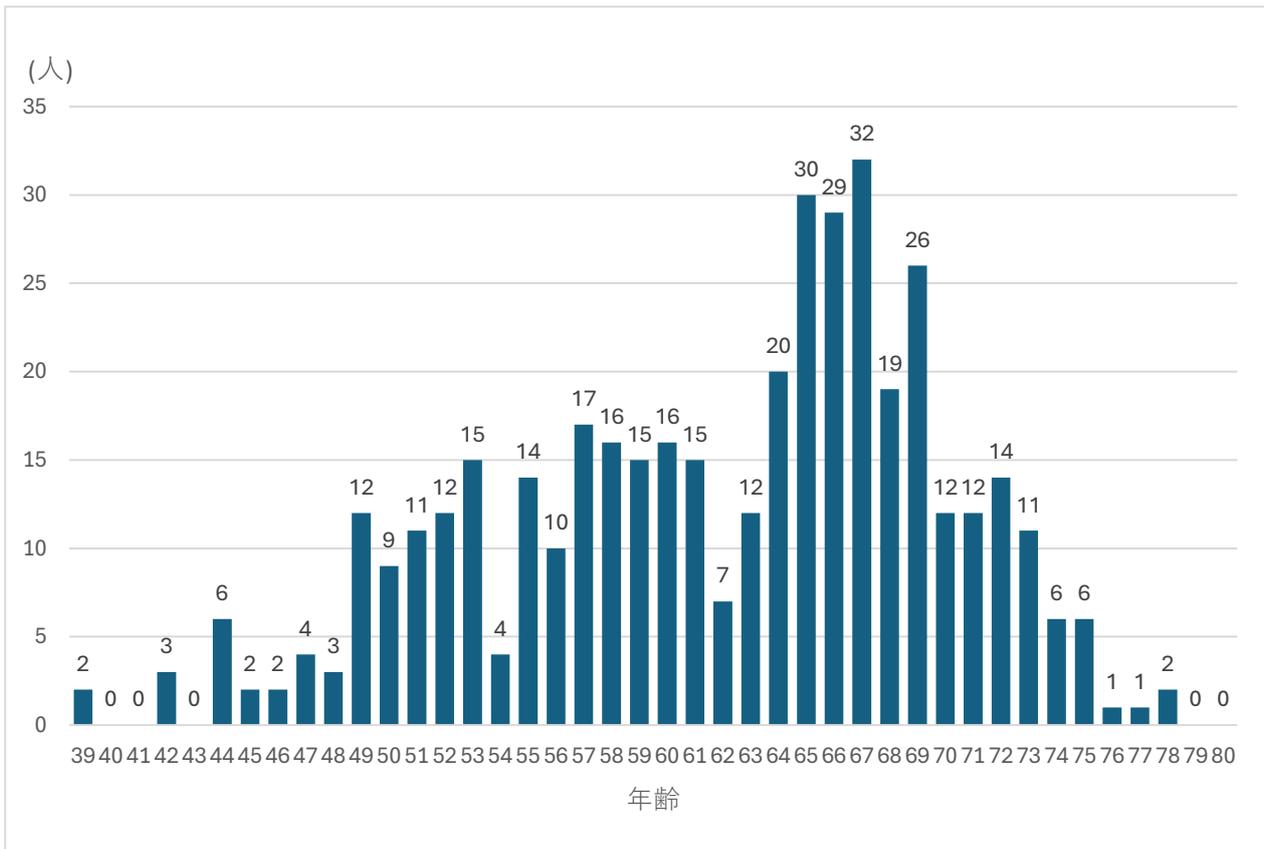
Q 5 あなたの年齢をご記入ください。(2025年3月末現在)

主任児童委員の平均年齢は61.9歳、中央値は64.0歳である。特に、65歳から69歳までの年齢が多く、全体の31.7%を占めている。

図表6 主任児童委員の年齢統計量 (2025. 3月末時点)

主任児童委員数	有効 (人)	429
	欠損値	0
平均値 (歳)		61.94
中央値 (歳)		64.00
標準偏差		8.129

図表7 主任児童委員の年齢分布 総数：429人



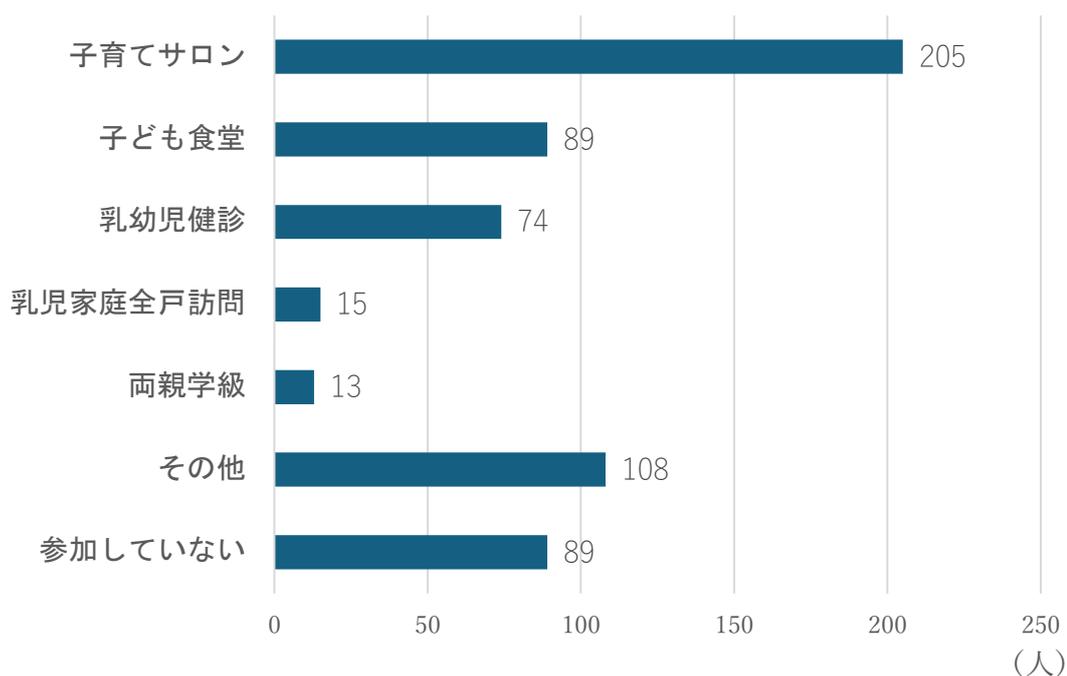
## 6 子どもを対象とする事業の参加

Q 6 子どもを対象とする事業に参加することがありますか。複数選択可

子どもを対象とする事業の参加状況は、「子育てサロン」に 205 人（47.8%）が最も多く、「活動していない」は 89 人（20.7%）となっている。

「その他の活動」と回答した 108 人は、乳幼児対象の事業、小中学校の校内事業や放課後活動・外国人支援等、居場づくりや福祉活動等の地域づくりに関する事業等、多岐にわたっている。

図表 8 事業の参加状況（複数回答） 総数：429 人



図表 9 その他の内容

該当数：108人

内 容
生後 6 カ月訪問（年 6 件程度）
希望の赤ちゃん訪問（2）
赤ちゃんふれあい体験（4）
ぴよぴよ教室
託児支援
読み聞かせボランティア（7）
ブックスタート
子育てひろば（2）
子育て支援センター（2）
こども家庭センター
親子サークル
児童館活動（2）
未就園児親子活動（3）
社協のこども向け活動
親子健やか相談
プレパパママ講座・交流会（5）
フレッシュマタニティ教室
小学校お話会
小学校ボランティア（3）
小学低学年の居場所づくり
放課後こども教室（5）
放課後教室等の活動（4）
放課後児童クラブ（2）
学習支援（2）
学童保育

内 容
小学生勉強会
校内ボランティア（2）
こども体力テスト大会
ジュニア福祉
NPO 外国人支援
自治会主催の交流会
健全育成会（2）
夜間中学
フリースクール
おもちゃ図書館
こどもアドボカシーしずおか
町内会の子ども夏休み勉強会
遊びの会
不登校の親の会
生活困窮家庭学習支援活動
中学生・親子の交流事業
福祉交流活動
移動図書館（4）
楽しい工作（2）
居場所づくり（2）
公民館のこども対象事業（2）
世代交流会
子どもの居場所（2）
ニコニコキャラバン
金太郎広場手伝い
その他（17）

## Ⅱ 行政機関などからの情報提供について

### 1 参加している会議

Q 7 区域担当内で、あなたが主任児童委員として参加している会議はありますか。  
(複数選択可)

このうち、個別事例を扱う会議の場合は、○を◎に変えてください。

参加している会議を聞いたところ、「小学校が主催する会議」に 284 人(66.4%) 「中学校が主催する会議」に 220 人(51.4%)、「子育てに関する会議」に 153 人(35.7%)が参加している。また、「会議に参加していない」は 38 人(8.9%)となっている。

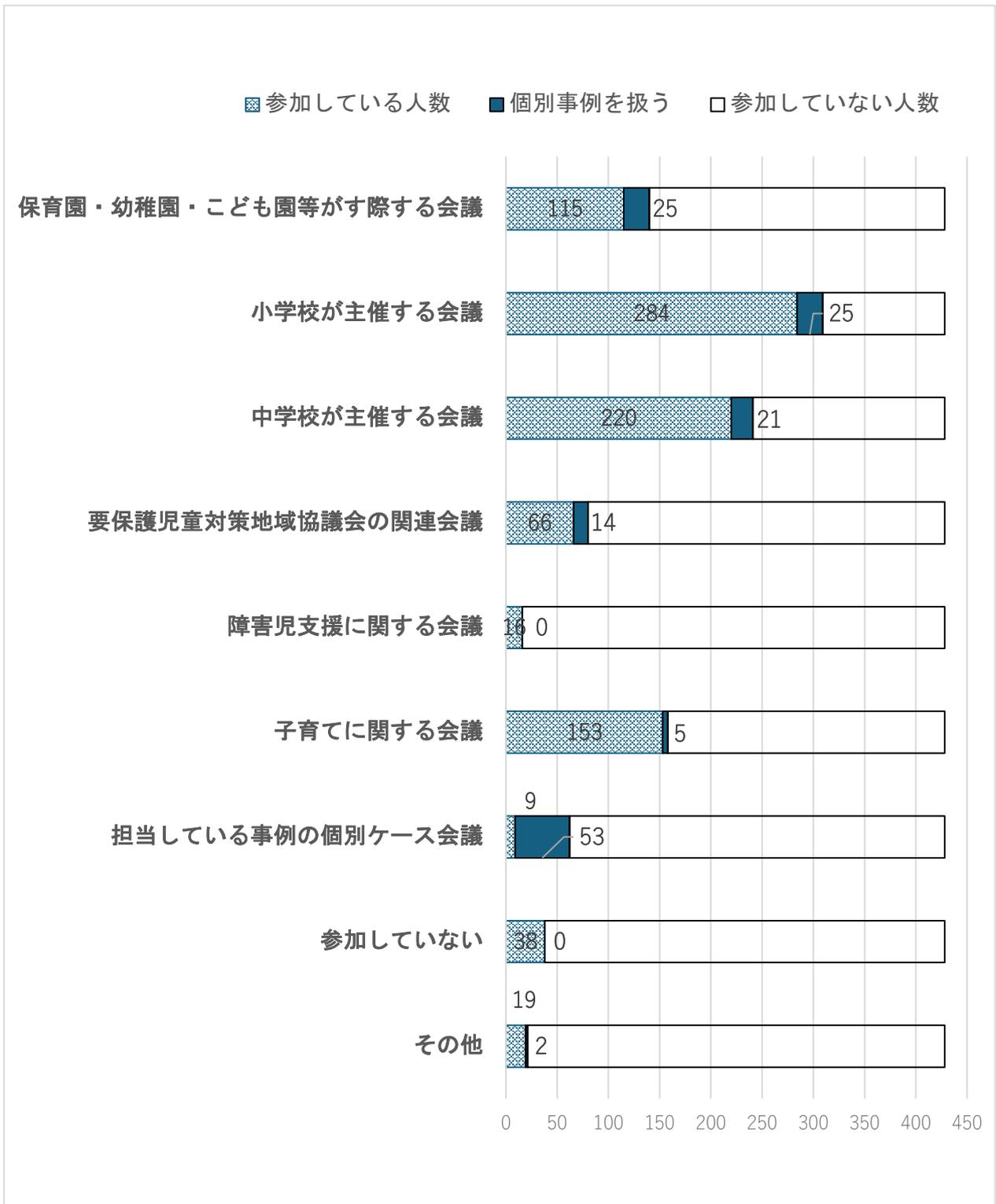
個別事例を含む会議は、145 件であり、全体 1044 件(14.1%)となっている。

図表 10 参加している会議の状況(複数回答) 総数： 428 人

参加している会議名	参加あり	(再掲) 個別事例あり
保育園・幼稚園・こども園等が主催する会議	115	25
小学校が主催する会議	284	25
中学校が主催する会議	220	21
要保護児童対策地域協議会の関連会議	66	14
障害児支援に関する会議	16	0
子育てに関する会議	153	5
担当している事例の個別ケース会議	9	53
その他	19	2
小 計	882	145
会議に参加していない	38	

図表 11 個別事例を扱う会議の参加状況（複数回答）

総数：429 人



## 2 役職者として参加している会議

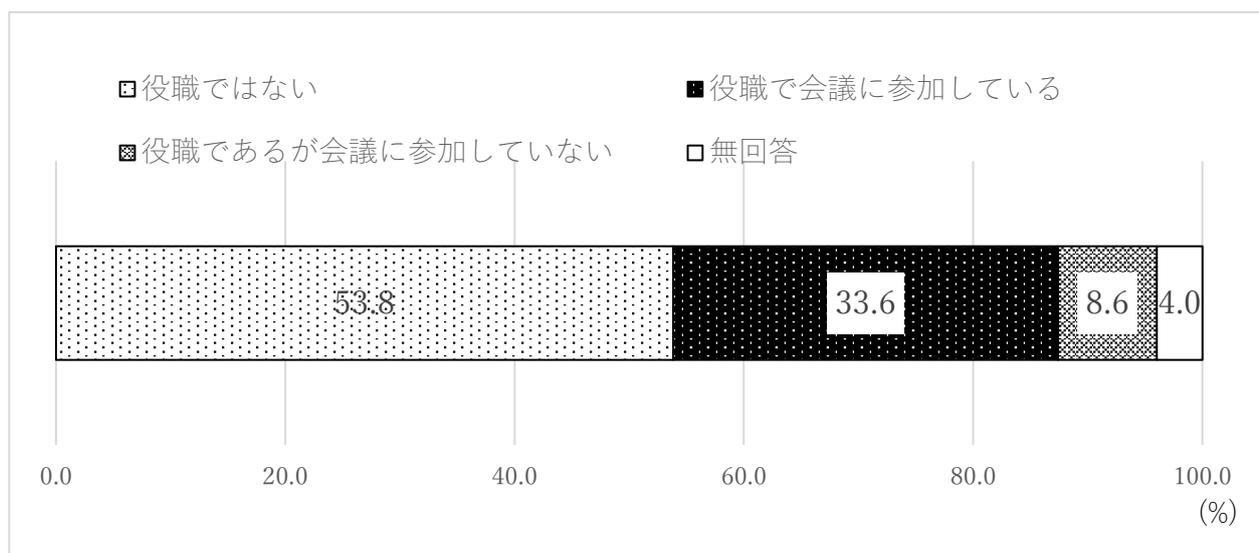
Q 8 民生委員児童委員協議会（主任児童委員を含む）の役職者として参加している会議はありますか。

役職者として会議に参加しているかを聞いたところ、「役職者として会議に参加している」が 144 人（33.6%）、役職者のうち、37 人（8.6%）は会議に参加していない。

図表 12 役職者としての会議参加状況 総数：429 人

項目	人数（人）	割合（%）
役職ではない	231	53.8
役職で会議に参加している	144	33.6
役職であるが会議に参加していない	37	8.6
無回答	17	4.0
合計	429	100.0

図表 13 役職者としての会議参加割合 総数：429 人



図表 14 役職者として参加している会議（重複回答） 該当数：144人

会議名	参加数
理事会・役員会	19
要保護児童対策地域協議会	11
学校運営協議会	39
学校評議委員会	13
教育委員会評議委員会	1
幼稚園評議委員会	1
こども園評議委員会	1
社会福祉協議会評議員会	1
学校評価委員会	5
幼稚園評価委員会	1
こども園評価委員会	2
学校づくり運営協議会	1
学校運営協議会	3
児童館運営会	1
保育所運営委員会	1
児童クラブ運営会議	3
子ども子育て会議	8
こども未来会議	1
子育て支援連絡会・協議会	2
学校関係者推進協議会	1
いじめ問題対策連絡協議会	7
子どもの貧困対策	1
コミュニティスクール	3
就学支援委員会議	1
青少年健全育成協議会	8
教育支援委員会議	1

会議名	参加数
就学指導委員会	1
小中学校福祉の会	1
第三者委員会	2
学校懇談会	1
小中統合会議	1
小中学校情報交換会	3
意見交換会(県と市)	1
子育て支援情報交換	1
主任児童委員運営協議会	1
主任児童委員推進協議会	1
主任児童委員部会準備会	1
児童相談連絡会	1
区協議会	1
地区社会福祉協議会	2
地区社協企画委員会	1
地区社協企画会議	1
広報委員会	1
福祉推進員会	4
更生保護女性会	1
社会を明るくする会	1
男女共同参画推進会議	1
都市計画審議会、福祉計画	1
障害者福祉施策協議会	1
生活支援体制づくり協議会	1
まちづくり委員会	1
地域福祉協議会	1
その他・無回答	8

### 3 支援を必要としている人がどこにいるか

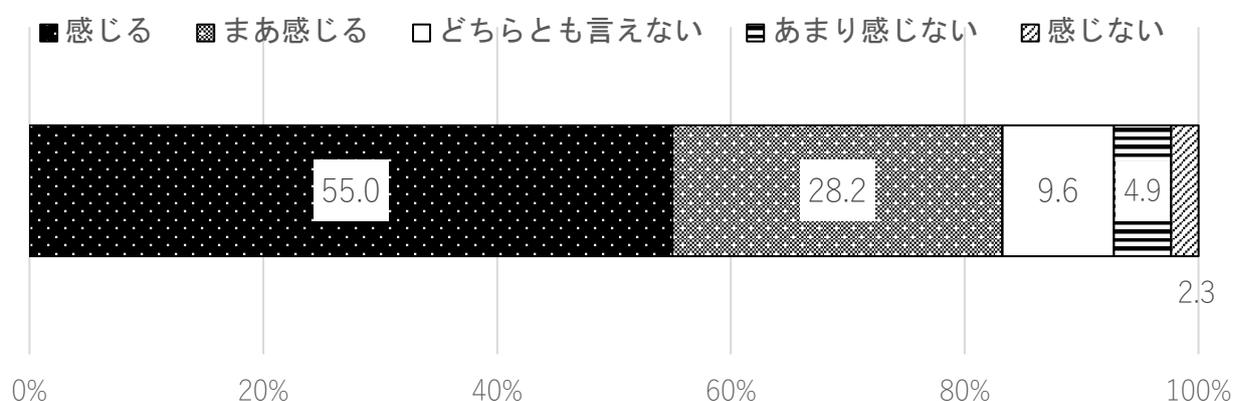
Q9 主任児童委員活動をする上で、支援を必要としている人がどこにいるのかわからないという課題を感じることがありますか。

支援を必要とする人がどこにいるのかわからないという課題について聞いたところ、「感じる」は236人(55.0%)、「まあ感じる」は121人(28.2%)で、合算すると全体の83.2%を占める。「感じない」「あまり感じない」を併せると全体の7.2%である。

図表 15 「支援を必要とする人がどこにいるかわからない」 総数：429人

項目	人数(人)	割合(%)
感じる	236	55.0
まあ感じる	121	28.2
どちらとも言えない	41	9.6
あまり感じない	21	4.9
感じない	10	2.3
合計	429	100.0

図表 16 「支援を必要とする人がどこにいるかわからない」(割合)



#### 4 対面支援をする場合に求める個人情報項目

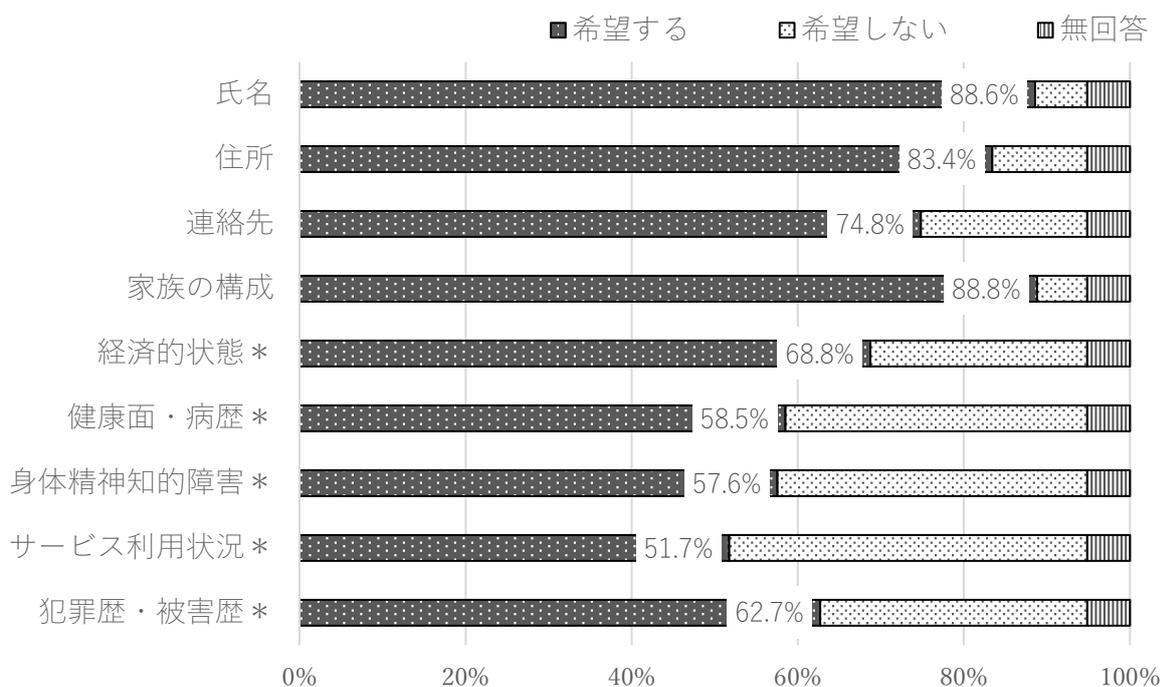
Q10 行政機関等から対面支援の依頼を受ける場合、情報提供を希望する「個人情報項目」の数字に○をいれてください。（複数選択可）

対面支援をする場合に求める個人情報項目を聞いたところ、「氏名」は380人、「住所」は358人、「連絡先」は321人、「家族の構成」は295人が求めている。要配慮個人情報である「経済的状态・健康面病歴・身体精神知的障害・サービス利用状況・犯罪歴被害歴」は減少がみられる。

図表 17 対面支援で求める個人情報項目（複数回答） 総数：429人 単位：人

	氏名	住所	連絡先	家族の構成	経済的状态	健康面病歴	身体精神知的障害	サービス利用状況	犯罪歴被害歴
希望する	380	358	321	381	295	251	247	222	269
希望しない	27	49	86	26	112	156	160	185	138
無回答	22	22	22	22	22	22	22	22	22

図表 18 対面支援の場合の比較（複数回答） 総数：429人



## 5 見守り支援をする場合に求める個人情報項目

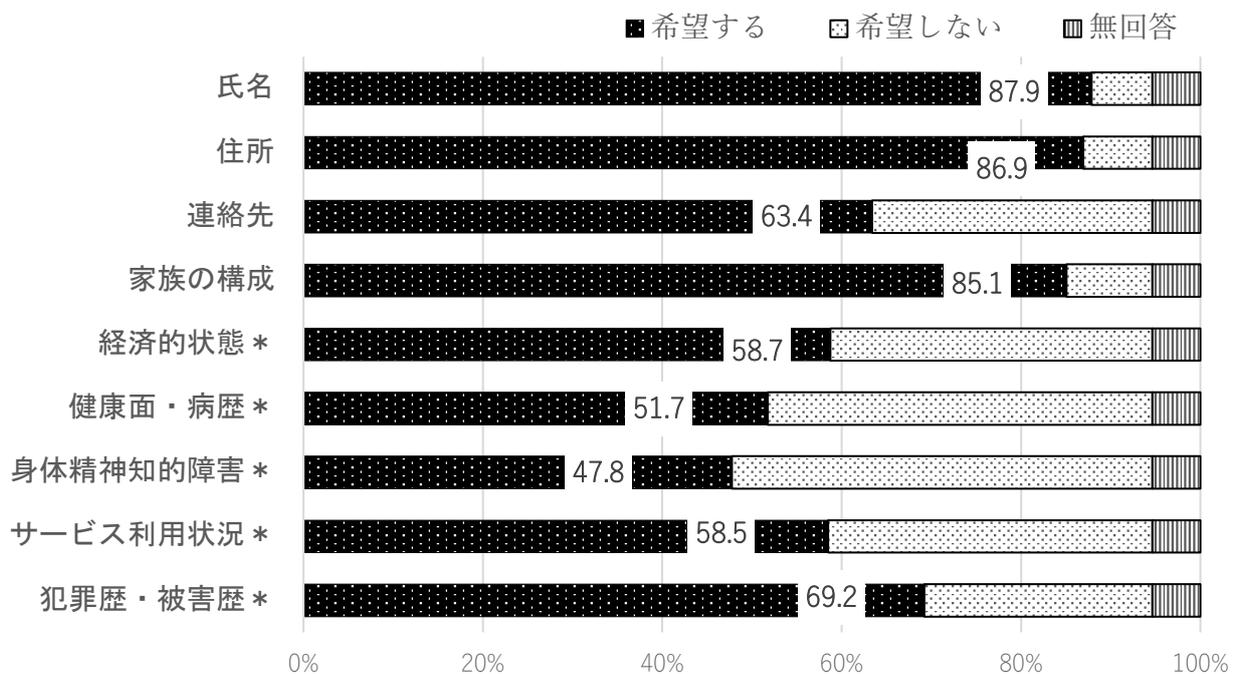
Q11 行政機関等から見守り支援の依頼を受ける場合、情報提供を希望する「個人情報項目」の数字に○を入れてください。（複数選択可）

見守り支援をする場合に求める個人情報項目を聞いたところ、「氏名」は 377 人、「住所」は 373 人、「連絡先」は 272 人、「家族の構成」は 365 人となっている。要配慮個人情報は、約半数が求めている、「犯罪歴・被害歴」は、297 人（69.2%）と多くなっている。

図表 19 見守り支援で求める個人情報項目（複数回答） 総数：429 人 単位：人

	氏名	住所	連絡先	家族の構成	経済的状態	健康面・病歴	身体精神知的障害	サービス利用状況	犯罪歴・被害歴
希望する	377	373	272	365	252	222	205	251	297
希望しない	29	33	134	41	154	184	201	155	109
無回答	23	23	23	23	23	23	23	23	23

図表 20 見守り支援の場合の比較



## 6 地域の課題を話し合う場合に求める個人情報項目

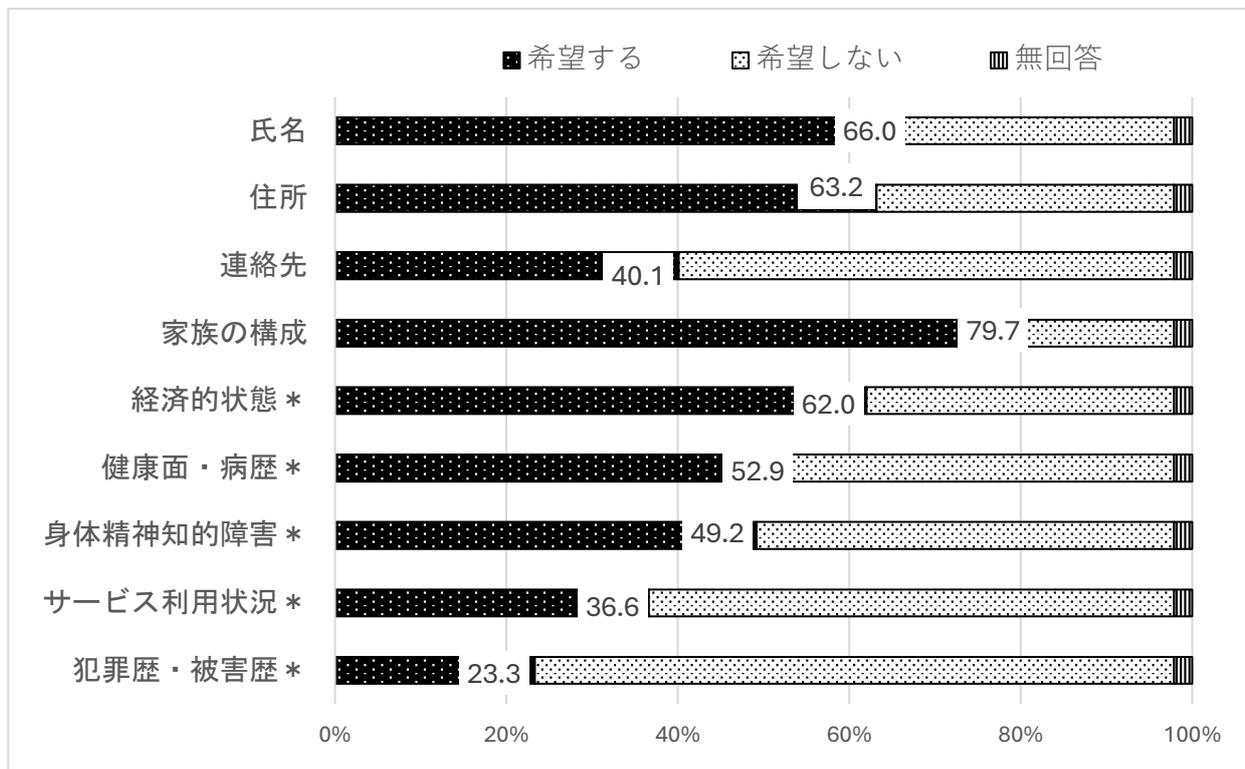
Q12 主任児童委員の立場で「地域の子育ち・子育てに関する課題」について話し合う会議に出席する場合、行政機関等から提供して欲しいと思っている「個人情報項目」の数字に○を入れてください。(複数選択可)

地域の課題を話し合う場合に求める個人情報項目を聞いたところ、「家族の構成」が342人(79.7%)で最も多い。要配慮個人情報項目の要望は、「サービス利用状況(36.6%)」「犯罪歴・被害歴(23.3%)」となっている。

図表 21 地域の課題検討のために求める個人情報項目(複数回答)総数：429人  
単位：人

	氏名	住所	連絡先	家族の構成	経済的状態	健康面 病歴	身体精神 知的障害	サービス 利用状況	犯罪歴 被害歴
希望する	283	271	172	342	266	227	211	157	100
希望しない	137	149	248	78	154	193	209	263	320
無回答	9	9	9	9	9	9	9	9	9

図表 22 地域の課題を話し合う場合の比較

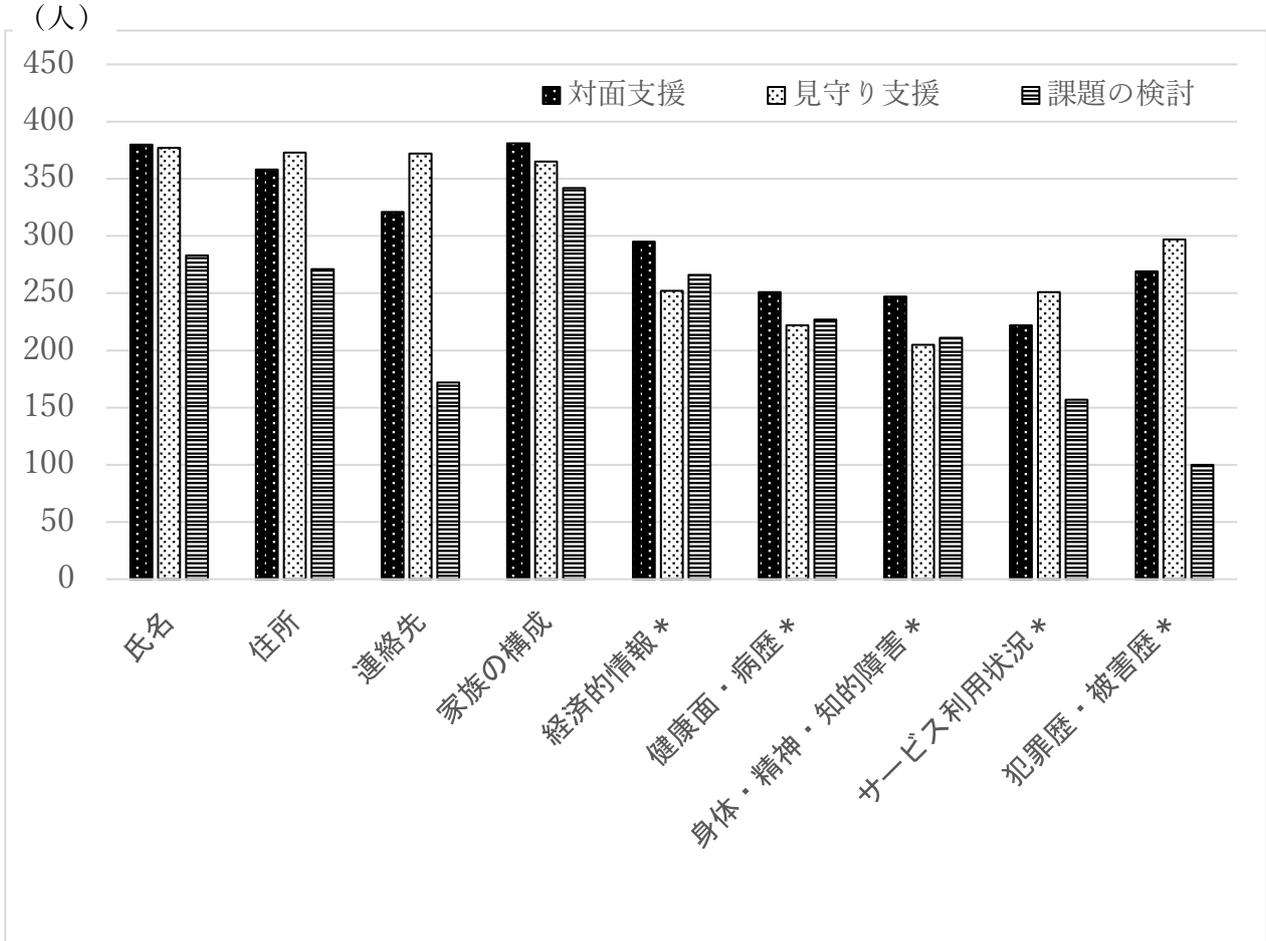


図表 23 活動別に求める個人情報項目の状況（複数回答）

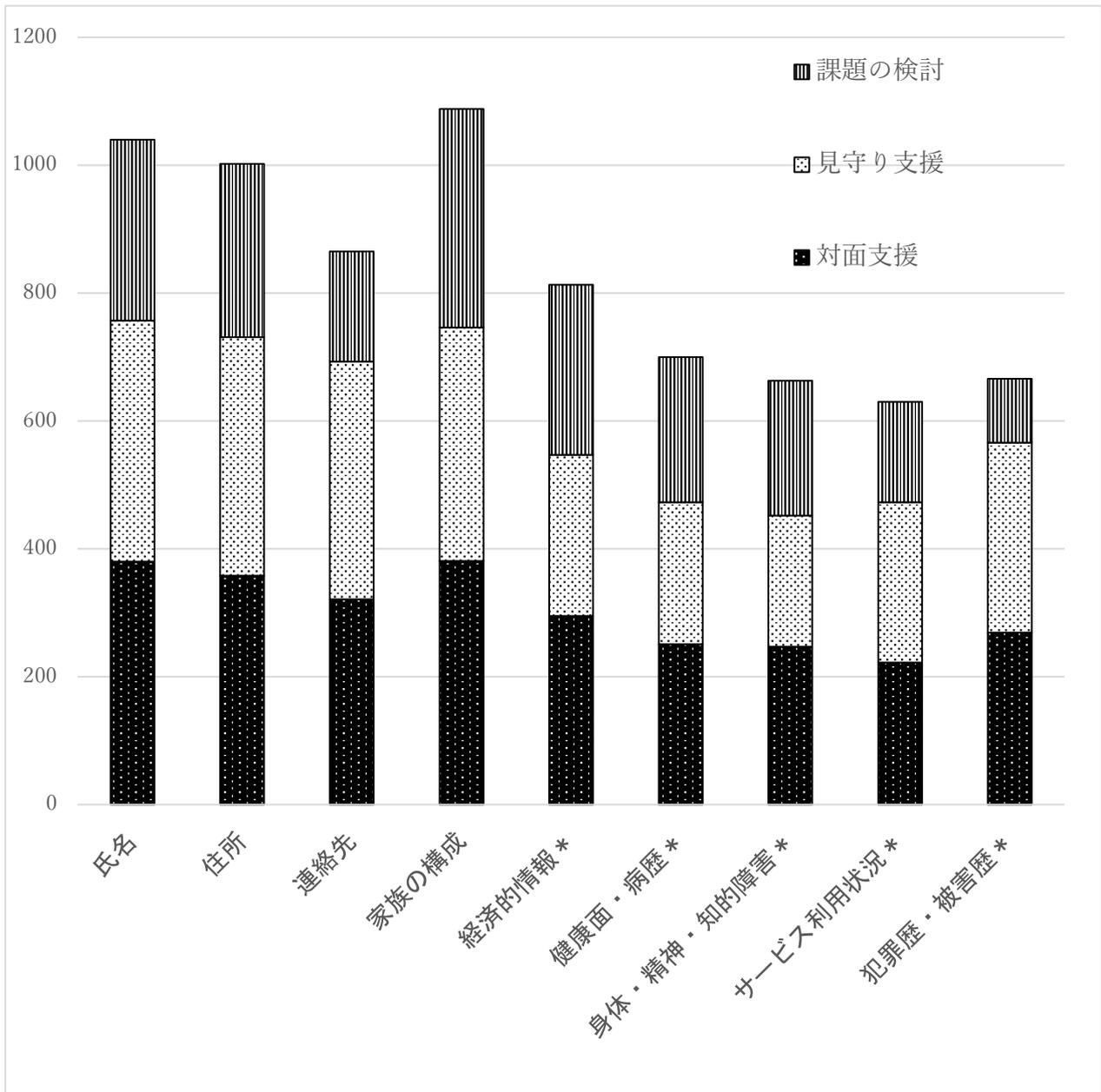
単位：人

個人情報項目	対面支援	見守り支援	課題の検討
氏名	380	377	283
住所	358	373	271
連絡先	321	372	172
家族の構成	381	365	342
経済的情報*	295	252	266
健康面・病歴*	251	222	227
身体・精神・知的障害*	247	205	211
サービス利用状況*	222	251	157
犯罪歴・被害歴*	269	297	100

図表 24 活動別に求める個人情報項目の比較（複数回答）



図表 25 活動別に求める個人情報項目の合算（複数回答）



対面支援・見守り支援・地域課題を検討する3つの場面について、個人情報の要求を比較すると、いずれも「家族の構成」が高く、要配慮個人情報は少ない傾向となっている。

## 7 個人情報保護法に関する研修

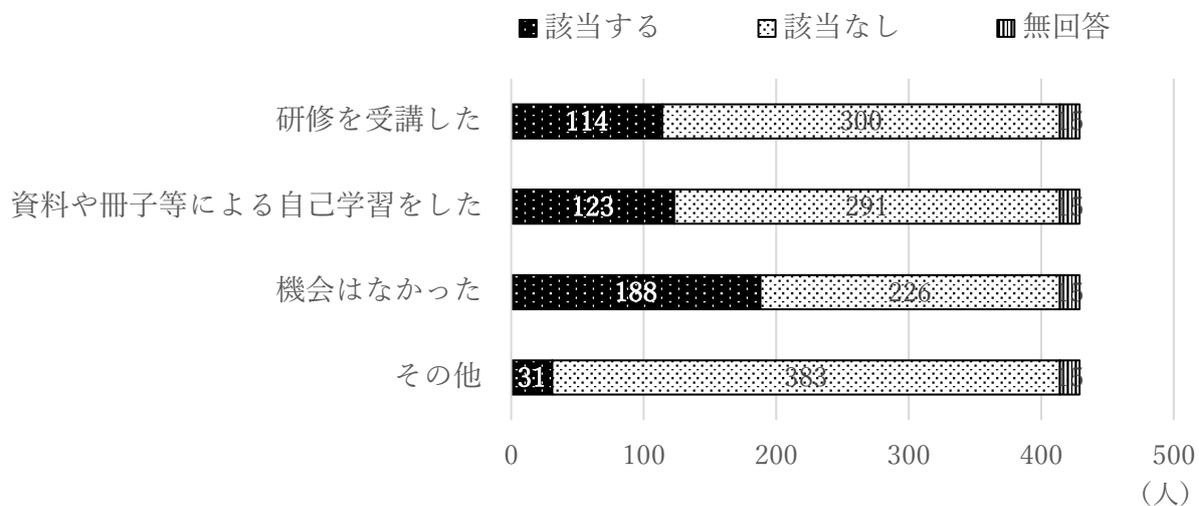
Q13 2018年以降、「個人情報保護に関する研修」等を学習する機会がありましたか。（複数選択可）

要配慮個人情報（個人情報保護法改正 2018）に関する研修の受講状況は、「研修を受講」は114人（26.2%）、「自己学習」は123人（28.7%）、「受講歴なし」は188人（43.8%）である。

図表 26 個人情報保護法に関する研修の受講状況 総数：429人 単位：人

	該当する	該当なし	無回答
研修を受講した	114	300	15
資料や冊子等による自己学習をした	123	291	15
機会はなかった	188	226	15
その他（数字：件数） ・ 職場研修 3・事例紹介 1・事例検討会 1 ・ 会議内の指導 5・他の研修 6・不明 15	31	383	15

図表 27 個人情報保護法に関する研修の受講比較 総数：429人



### Ⅲ 個人情報保護と情報共有

#### 1 対象者区分毎の情報共有の実態と要望

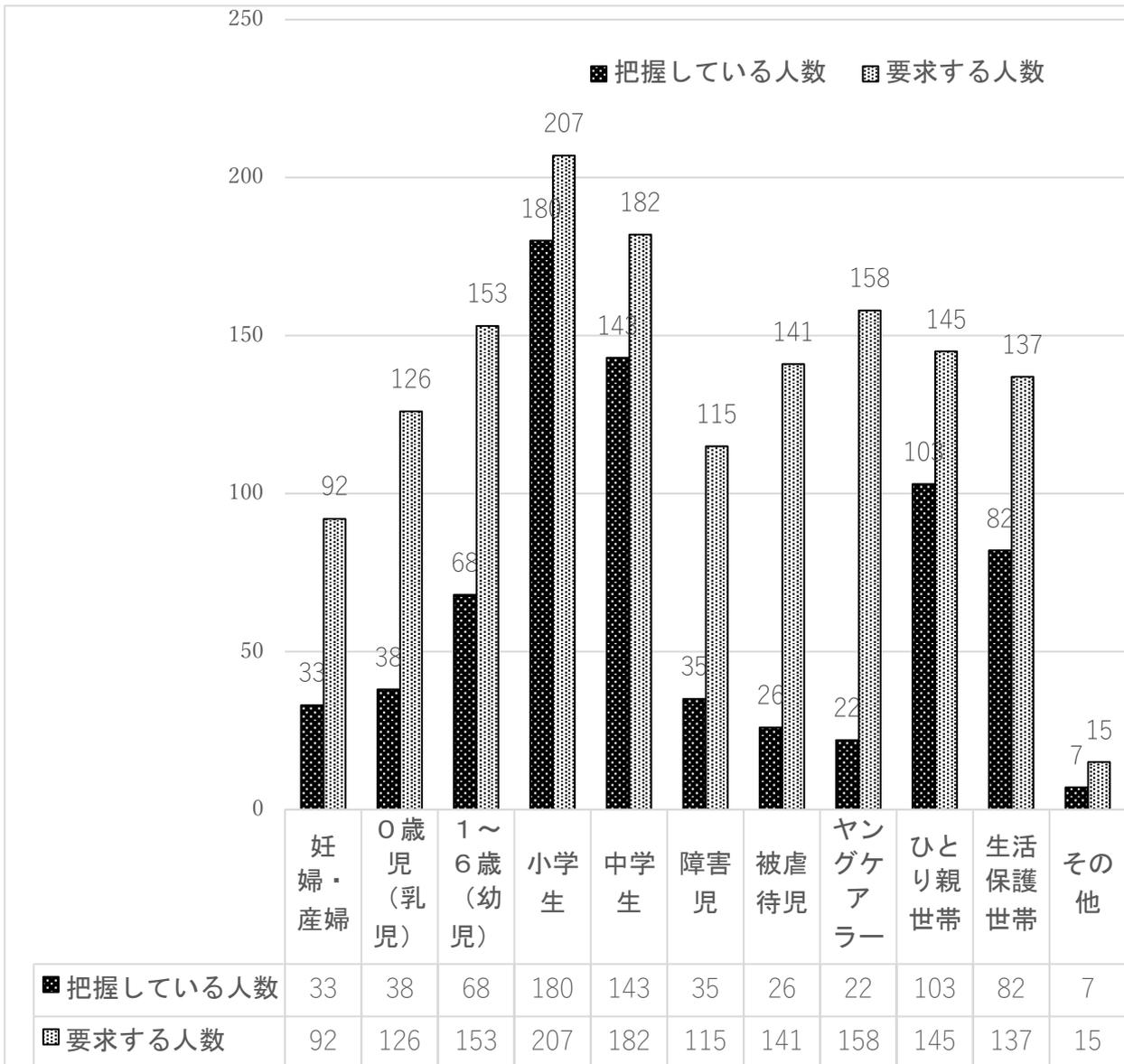
Q14 対象者区分ごとに、①と②についてお尋ねします。

①支援が必要な子どもや家庭の情報について、概ね知っている対象者区分に○を記入してください。

②新たに（又は継続して）行政機関等からの情報提供を希望する対象者区分に○を記入してください。

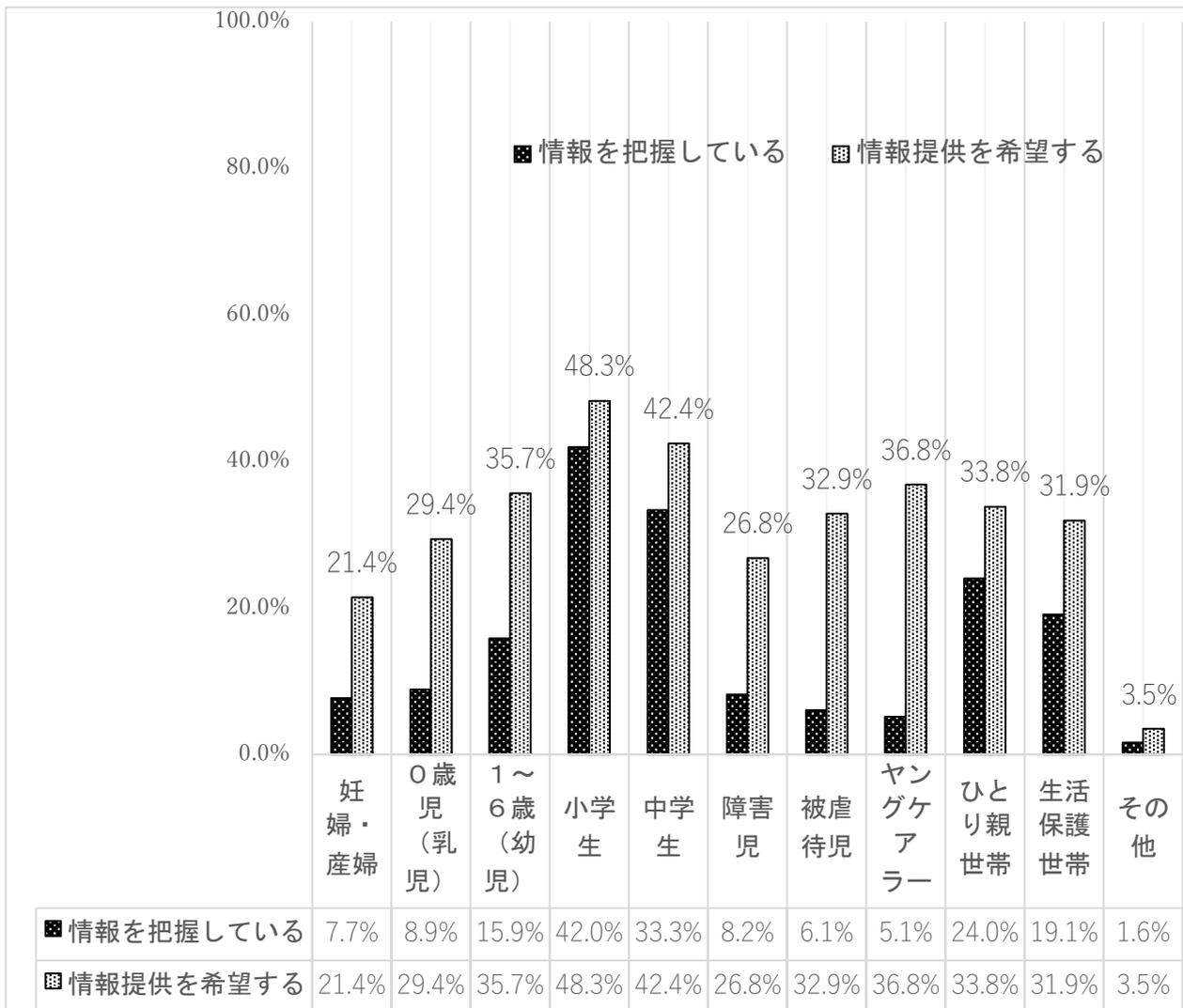
（複数選択可。無回答の項目があってもかまいません）

図表 28 対象者区分別個人情報の把握・希望の状況（複数回答）総数：429人



図表 29 対象者区分別個人情報の把握・希望割合の比較（複数回答）

総数：429 人



対象者の区分毎に個人情報項目報の把握状況を聞いたところ、「小学生」は 180 人、「中学生」は 143 人、「妊産婦・乳児・障害児・被虐待児・ヤングケアラー」は、20 人～30 人台となっている。

個人情報項目を希望する対象者区分の差は小さくなっている。

「把握している」と回答した対象区分の平均は 15.6%、「希望する」は 31.2% であり、いずれも主任児童委員の過半数には至っていない。

## 2 行政機関との関係

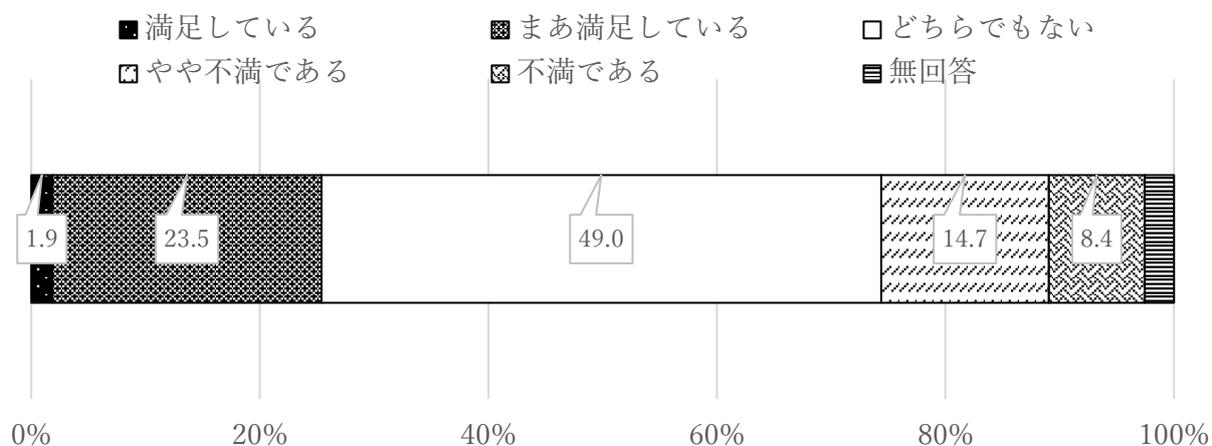
Q15 行政機関との関係性をどのように感じていますか。

行政機関との関係性について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を併せると 109 人（25.4%）、「やや不満である」「不満である」を併せると 99 人（23.1%）である。

図表 30 行政機関との関係性 単位：人

項目	人数
満足している	8
まあ満足している	101
どちらでもない	210
やや不満である	63
不満である	36
無回答	11
合計	429

図表 31 行政機関との関係性 総数：429 人



### 3 保育園・認定こども園・幼稚園・地域子育て支援センター等との関係

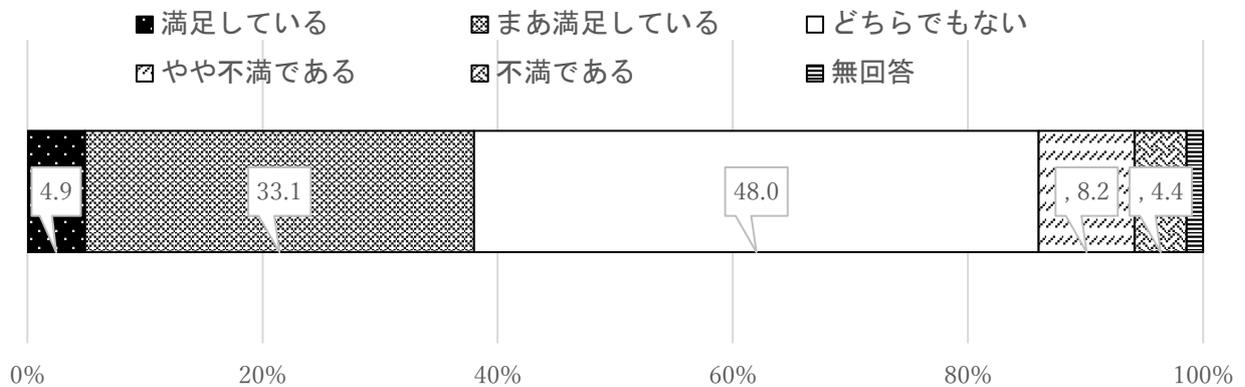
Q16 保育園・認定こども園・幼稚園・地域子育て支援センター等との関係性をどのように感じていますか。

保育園・認定こども園・幼稚園・地域子育て支援センター等との関係性について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を併せると163人(38.0%)、「やや不満である」「不満である」を併せると54人(12.6%)となっている。

図表 32 保育園・幼稚園等との関係性 単位：人

項目	人数
満足している	21
まあ満足している	142
どちらでもない	206
やや不満である	35
不満である	19
無回答	6
合計	429

図表 33 行政機関との関係性 総数：429人



#### 4 小学校・中学校との関係

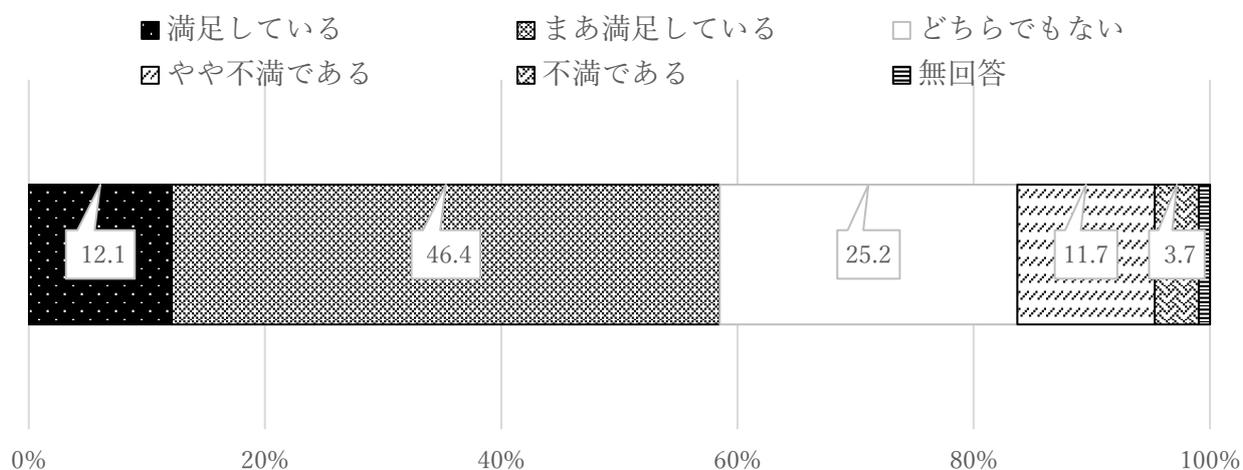
Q17 小学校・中学校との関係性をどのように感じていますか。

小学校・中学校との関係性について聞いたところ、「満足している」「まあ満足している」を併せると 251 人（58.5%）、「やや不満である」「不満である」を併せると 66 人（15.4%）である。

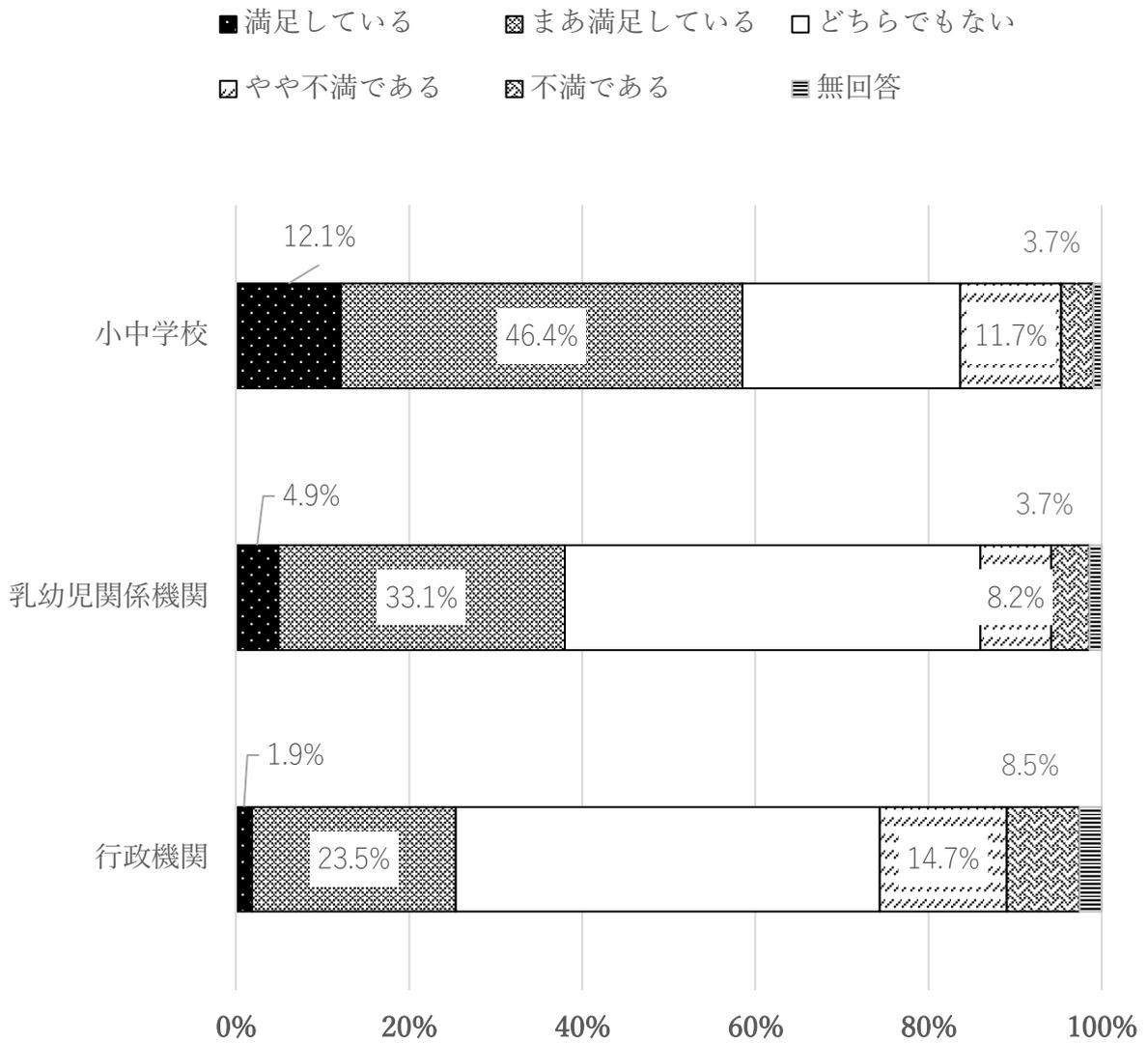
図表 34 小学校・中学校との関係性 単位：人

項目	人数
満足している	52
まあ満足している	199
どちらでもない	108
やや不満である	50
不満である	16
無回答	4
合計	429

図表 35 小学校・中学校との関係性 総数：429 人



図表 36 行政・教育・福祉機関との関係性の比較 総数：429 人



	行政機関	乳幼児関係機関	小中学校
■ 満足している	8	21	52
▨ まあ満足している	101	142	199
□ どちらでもない	210	206	108
▧ やや不満である	63	35	50
▩ 不満である	36	19	16
≡ 無回答	11	6	4

## 5 区域担当の児童委員との情報共有

Q18 区域担当の児童委員と、個別支援活動の情報共有をしていますか。

区域担当の児童委員と、個別支援活動の情報共有をしているか聞いたところ、「情報共有をしている」は166人、「情報共有をしていない」は64人、「どちらとも言えない」は89人となっている。

個別支援に関わると回答した319人\*1では、「情報共有をしている」は全体の52.5%、「情報共有をしていない」は20.1%となっている。

\*1 Q20「個別支援活動を実施している」と回答した161人よりも多い。

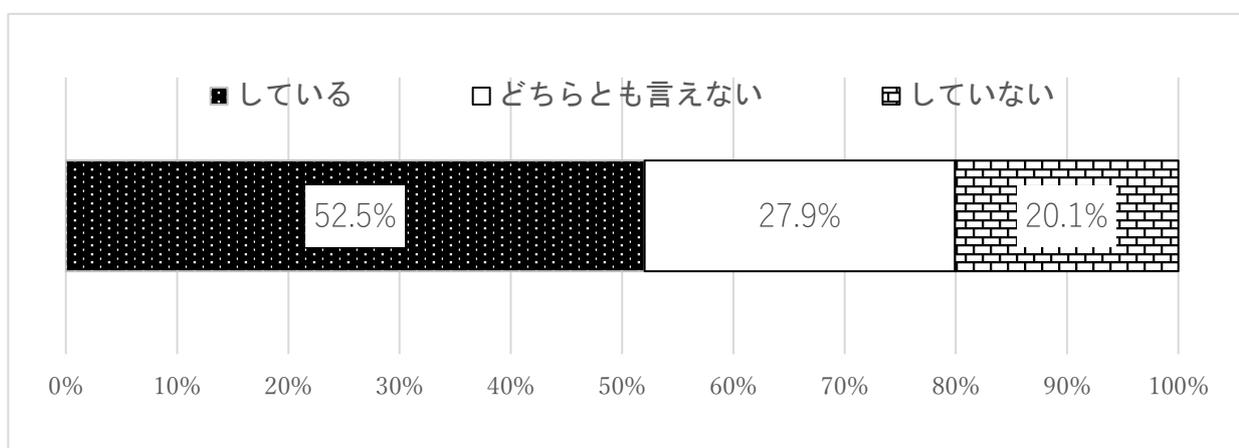
図表 37 児童委員との情報共有

単位：人

項目	人数
している	166
していない	64
どちらとも言えない	89
個別支援がない	86
児童委員を兼任している	18
無回答	6
合計	429

図表 38 主任児童委員と児童委員間の個別支援情報の共有状況

該当数：319人



## 6 学校・行政等との情報連携に関する意見

Q19 学校や行政機関、社会福祉協議会等の関係機関との情報連携について、ご意見等ありましたら、ぜひ教えてください。

回答数 429 人中、233 人（54.3%）の回答を分類すると、次の通りである。

（複数回答）

・主任児童委員の役割に関する考え	49 件
・主任児童委員制度に関する考え	40 件
・主任児童委員活動の改善に関すること	22 件
・情報共有（個人情報保護）に関すること	21 件
・主任児童委員の認知度に関する考え	17 件
・主任児童委員活動の負担感	16 件
・主任児童委員活動に対する不満	12 件
・活動と仕事の両立に関する考え	12 件
・主任児童委員の後任探しについて	8 件
・肯定的（前向き）と感じる記載内容	42 件

#### IV 個別支援活動の情報について

##### 1 令和6年度中に携わった個別支援活動

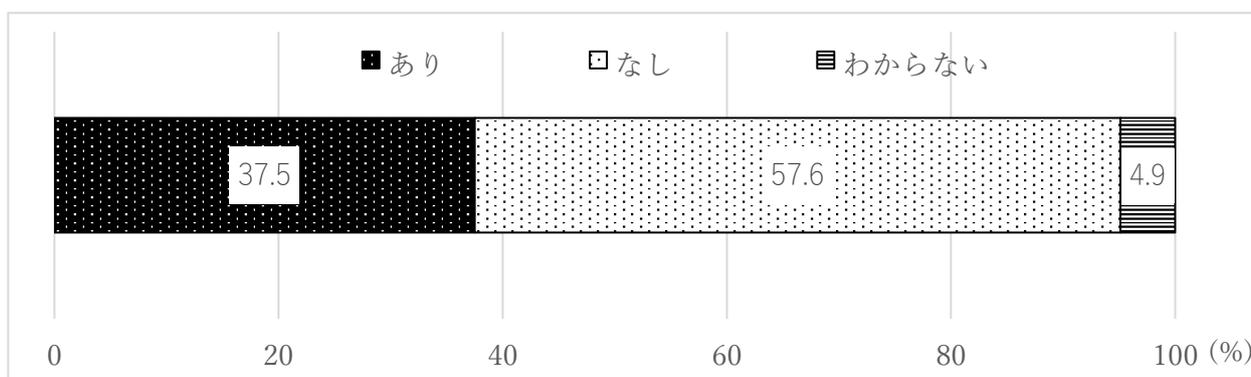
Q20 あなたが、令和6年度中に携わっている事例は何件ですか。ゆるいつながりの事例を含めてお答えください。なお、支援の担当者が、他の児童委員または主任児童委員等の事例も含まれます。

個別支援活動を聞いたところ、「活動あり」は161人（37.5%）であり、件数の平均値は8.2件、最頻値は1件、中央値は2件、最大値が123件となっている。主任児童委員429人の個別支援活動の述べ件数は1,317件であり、1件を担当している主任児童委員は51人、2件は36人、3件は27人となって、10件以内で個別支援活動を実施している主任児童委員が多い。

図表 39 個別支援の活動状況 総数：429人

項目	人数（人）	割合（%）
あり	161	37.5
なし	247	57.6
わからない	21	4.9
合計	429	100.0

図表 40 個別支援活動の割合 総数：429人

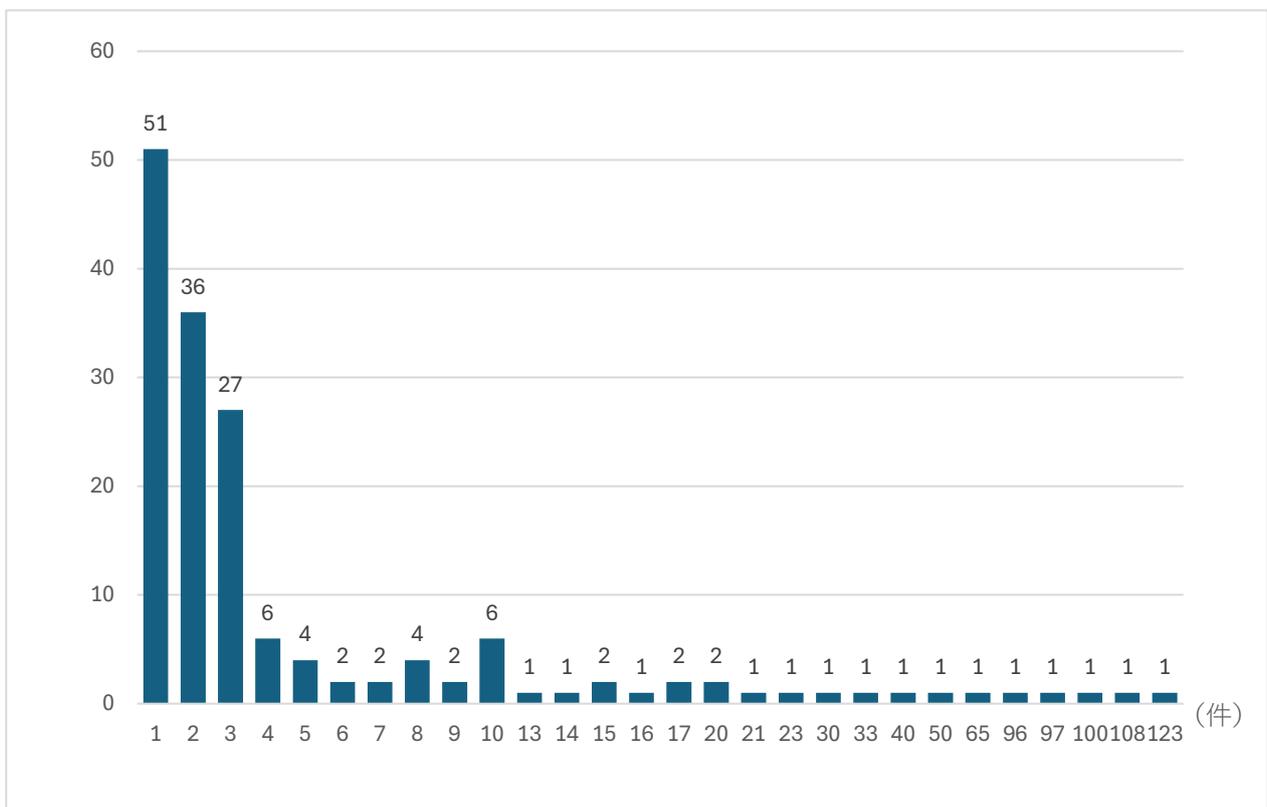


図表 41 個別支援活動件数の統計量

統計量		
R 6 個別事例活動件数		
主任児童委員数	有効	161
	欠損値	268
平均値 (件)		8.18
中央値 (件)		2.00
最頻値		1
標準偏差		19.397
最小値 (件)		1
最大値 (件)		123

図表 42 個別支援活動の一人あたり実施状況

対 象：161 人 述べ件数：1,317 件



## 2 対面支援の状況

Q21 Q20( )件のうち、対面支援をしている事例はありますか。

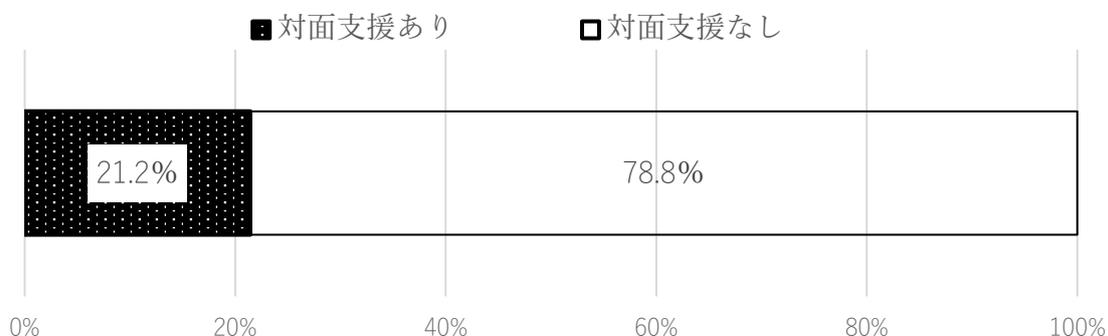
個別支援をしている 161 人に、対面支援活動について聞いたところ、「あり」は 91 人 (21.2%) であり、件数の平均値は 4.1 件、中央値は 1.0 件、最頻値は 1 件、最大値が 70 件となっている。

主任児童委員 91 人の対面支援活動の述べ件数は 372 件であり、1 件を担当している主任児童委員は 46 人、2 件は 16 人、3 件は 4 人となって、10 件以内で対面支援活動を実施している主任児童委員が多い。

図表 43 対面支援の活動状況 総数：429 人

	人数	割合
ある	91	21.2%
ない	70	16.3%
個別支援の活動なし	268	62.5%
合計	429	100.0%

図表 44 対面支援の活動割合 総数：429 人

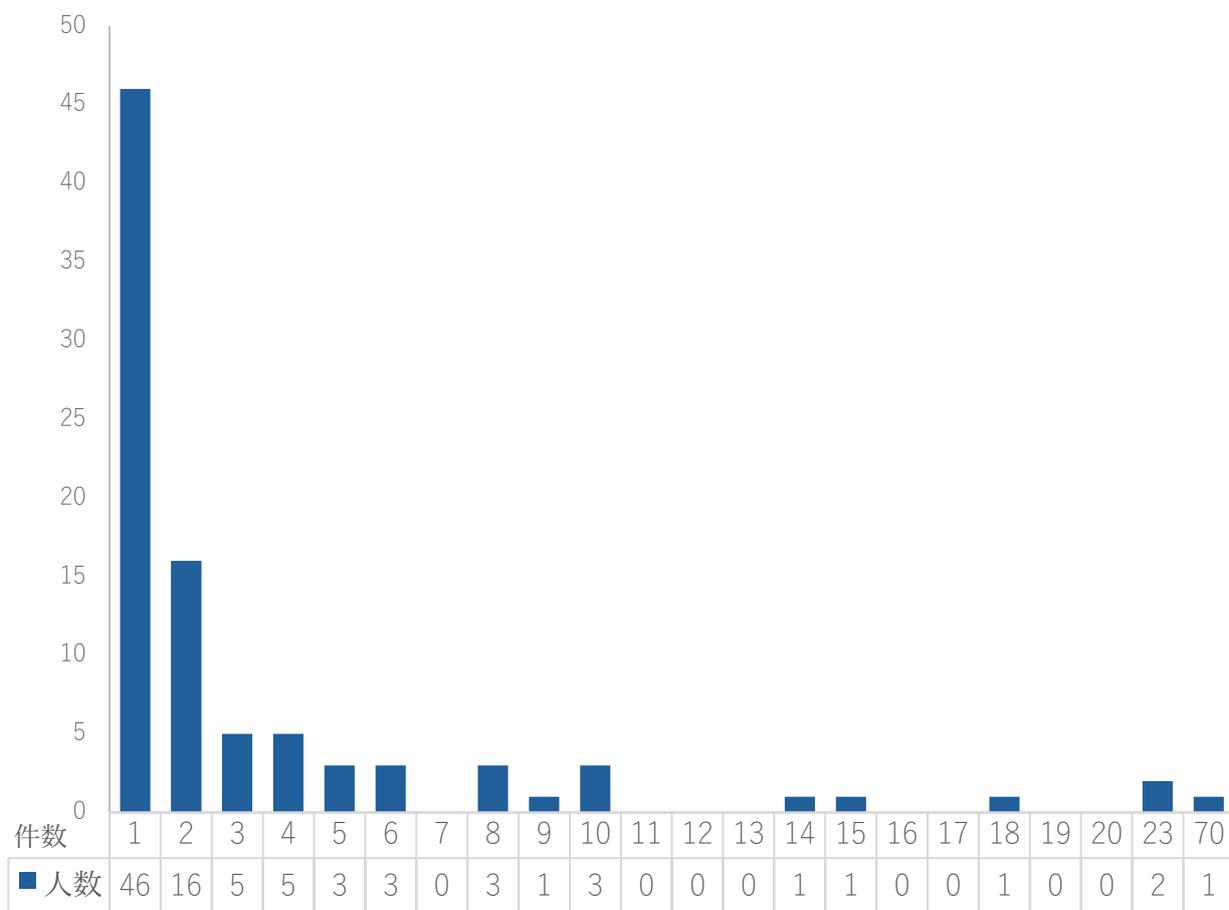


図表 45 対面支援の活動件数統計量

対面支援活動	ある（人）	91
	ない（人）	338
平均値（件）		4.09
中央値（件）		1.00
最頻値（件）		1
標準偏差		8.282
最小値（件）		1
最大値（件）		70

図表 46 対面支援の一人あたり活動状況

対 象： 91 人 述べ件数： 372 件



### 3 対面支援をする事例の連携

Q 22-① 回答件数のうち、支援関係者が集まり、情報共有やケース検討を行った事例はありますか。

対面支援活動をしている 92 人のうち、「支援関係者と情報共有・ケース検討を行った経験あり」は 59 人 (64.8%)、「経験なし」は 33 人 (35.2%) である。

対面支援 372 件中、連携している 197 件は 53.0% に該当する。

図表 47 支援関係者との連携状況 該当数：91 人

	人数 (割合)	述べ件数 (割合)
ある	59 (64.8%)	197 (53.0%)
ない	32 (35.2%)	175 (47.0%)
合計	91 (100.0%)	372 (100.0%)

図表 48 支援関係者と連携している件数の内訳

該当件数：197 件

件数	人数	述べ件数
1	39	39
2	9	18
3	3	9
4	2	8
5	1	5
7	1	7
8	1	8
15	1	15
18	1	18
70	1	70
合計	59	197

Q22-② 回答件数のうち、あなたに対して、支援関係者からのサポートがあると感じる事例はありますか。

対面支援活動をしている91人のうち、63人(69.2%)が支援関係者からのサポートを感じており、件数は173件で46.5%となっている。過半数の事例においては、サポートが感じられないと回答している。

図表 49 サポート状況 該当数：91人

	人数 (割合)	述べ件数 (割合)
ある	63 (69.2%)	173 (46.5%)
ない	24 (26.4%)	199 (53.5%)
無回答	4 (4.4%)	0 (0.0%)
合計	91 (100.0%)	372 (100.0%)

図表 50 支援関係者からのサポートがある件数の内訳

該当数：173件

件数	人数	述べ件数
1	42	42
2	8	16
3	5	15
7	1	7
8	1	8
15	1	15
70	1	70
未記入	4	0
合計	63	173

Q22-③ ②であると答えた人は、サポートを受けていると感じることがで  
 きる場面の全てに○をしてください。

②でないと答えた人は、期待する場面の全てに○をしてください。

対面支援活動をしている91人に、支援「サポートを感じる場面」または「サ  
 ポートを期待する場面」を聞いたところ、サポートの有無にかかわらず、「区域  
 担当の児童委員との連携」が41人（45.1%）で最も多く、次に「支援機関との電話や  
 声かけ、対面の対応・声かけ」が34人（37.4%）と多くなっている。

また、サポートをうけている人のうち、「定期的な会議」よりも「随時の個別ケー  
 ス会議」の関わりが多く、サポートをうけていない人でも会議開催の期待は大きい。

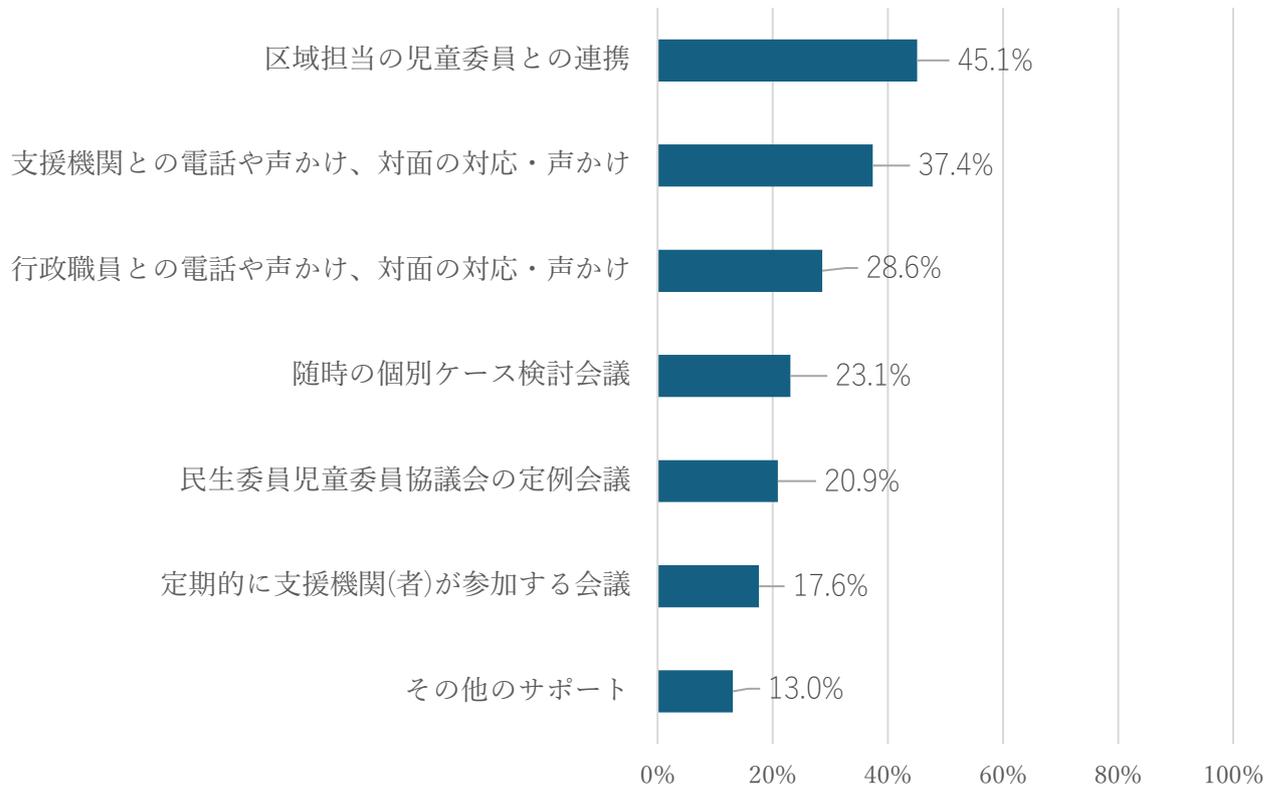
図表 51 サポートを感じる・希望する場面 （複数回答）

該当数：91人

項 目	Q22②サポート状況		合計
	ある	ない	
定期的に支援機関（者）が参加する会議	12	4	16
随時の個別ケース検討会議	14	7	21
行政職員との電話や声かけ、対面の対応・声かけ	21	5	26
支援機関との電話や声かけ、対面の対応・声かけ	29	5	34
民生委員児童委員協議会の定例会議	17	2	19
区域担当の児童委員との連携	34	7	41
その他	10	2	12
SSW・SCと連携（ライン、意見交換）			
学校職員（教頭先生他）、学校運営委員会、			
行政が毎月話を聞くサポート			
児童館児童厚生委員、こども食堂スタッフ			
主任児童委員と共有			

図表 52 サポートを感じる場面

該当数：91 人



Q22-④ 対面支援において、支援関係者と協議することで、あなたの役割は確認できていますか。

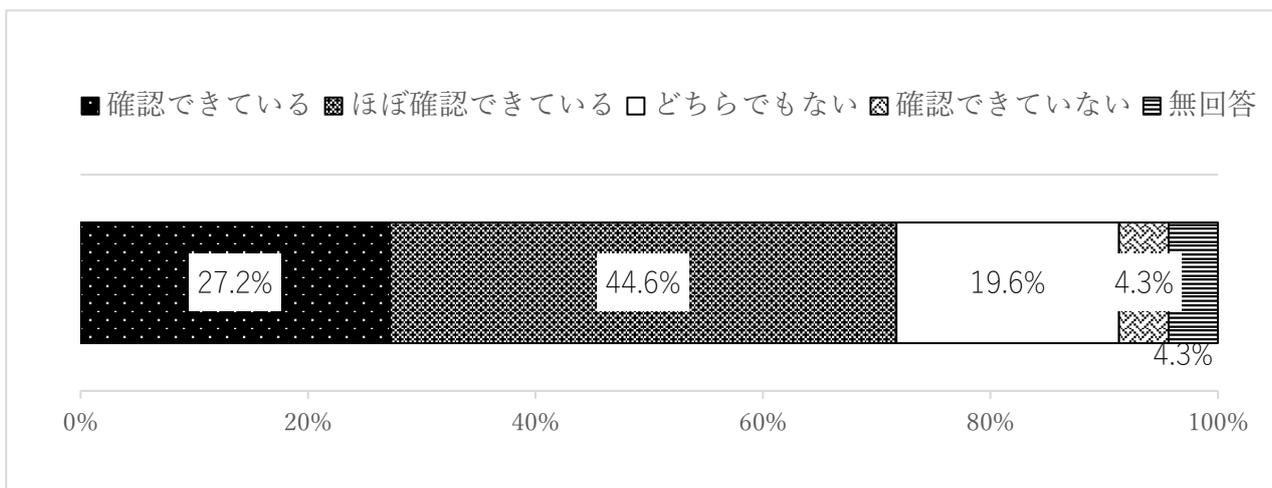
支援関係者との協議によって、対面支援活動の役割が確認できているか聞いたところ、「確認できている」は25人（27.2%）、「ほぼ確認できている」は41人（44.6%）となっている。

図表 53 対面支援における役割確認の状況 該当数：91人

	人数	割合 (%)
確認できている	25	27.2%
ほぼ確認できている	41	44.6%
どちらでもない	18	19.6%
あまり確認できていない	0	0.0%
確認できていない	4	4.3%
無回答	3	4.3%
合 計	91	100.0%

図表 54 役割確認の割合

該当数：91人



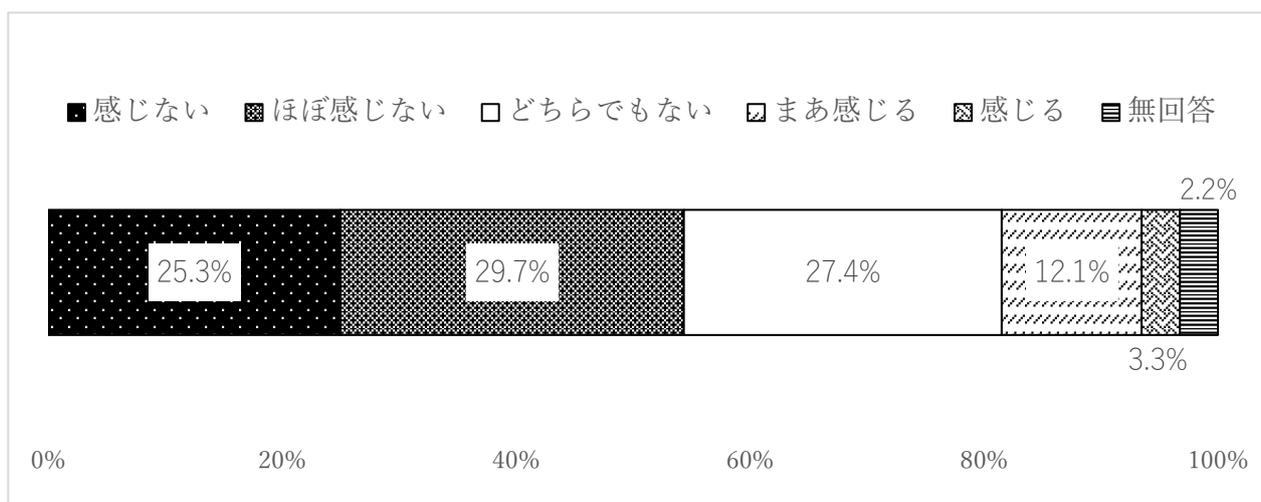
Q22-⑤ 対面支援において、役割過重（件数が多い、支援の内容が重い等）のストレスを感じますか。

対面支援活動における役割過重のストレスを感じるか聞いたところ、「感じない」は23人（25.0%）、「ほぼ感じない」は27人（29.3%）であり、「まあ感じる」「感じる」を併せると、14人（15.3%）となっている。

図表 55 対面支援の役割過重によるストレスの状況 該当数：91人

	人数	割合（%）
感じない	23	25.3%
ほぼ感じない	27	29.7%
どちらでもない	25	27.4%
まあ感じる	11	12.1%
感じる	3	3.3%
無回答	2	2.2%
合 計	91	100.0%

図表 56 役割ストレスを感じる割合 該当数：91人



#### 4 見守り支援の状況

Q23 Q20( )件のうち、見守り支援をしている事例はありますか。

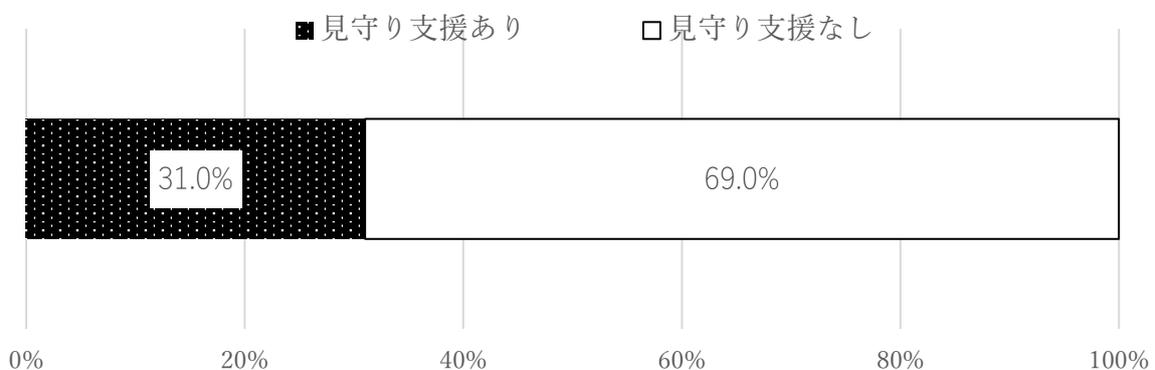
個別支援をしている161人に、見守り支援活動について聞いたところ、「あり」は133人(31.0%)であり、件数の平均値は7.38件、中央値は1.0件、最頻値は1件、最大値が150件となっている。

主任児童委員133人の見守り支援活動の実件数は981件であり、1件を担当している主任児童委員は68人、2件は21人、3件は12人となって、15件以内で対面支援活動を実施している主任児童委員が多い。

図表 57 見守り支援活動の状況 総数：429人

	人数	割合
ある	133	31.0%
なし	27	6.3%
わからない	1	0.2%
欠損値	268	62.5%
合計	429	100.0%

図表 58 見守り支援の活動割合 総数：429人

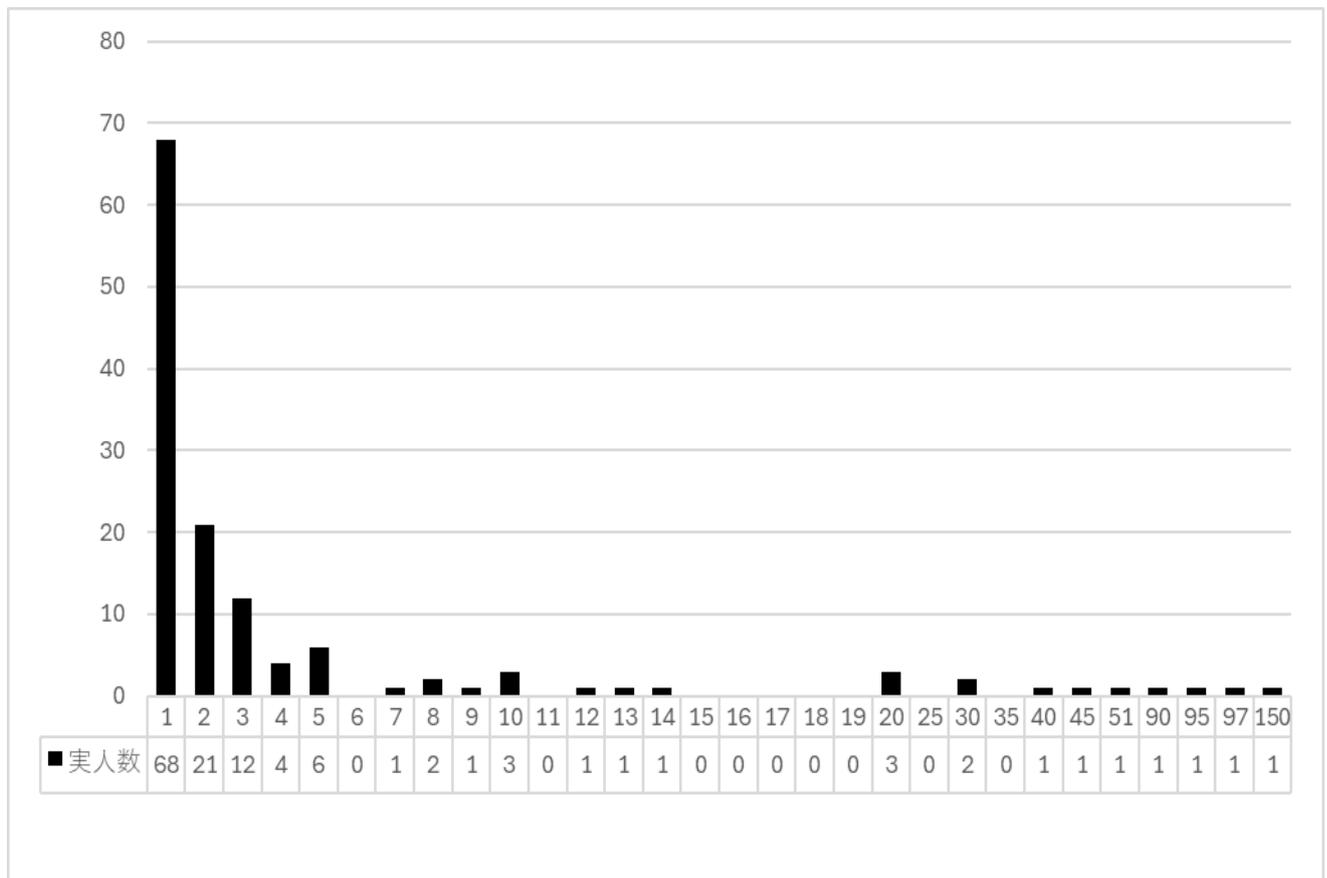


図表 59 見守り支援活動件数の統計量

見守り支援活動	あり（人）	133
	なし（人）	296
平均値（件）		7.38
中央値（件）		1.00
最頻値（件）		1
標準偏差		19.955
最小値（件）		1
最大値（件）		150

図表 60 見守り支援の一人あたりの活動状況

対象：133人 述べ件数：981件



## 5 見守り支援事例の連携

Q24-① 回答件数のうち、支援関係者が集まり、情報共有やケース検討を行った事例はありますか。

見守り支援活動をしている133人のうち、「支援関係者と情報共有・ケース検討を行った経験あり」は59人（44.4%）、「経験なし」は74人（55.6%）である。連携している222件の内訳は、1件が41人、2件が6人、全てと回答担当している人もいる。

図表 61 支援関係者との連携状況 対象：133人

	人数（割合）	件数
あり	59人（44.4%）	222件（22.6%）
なし	74人（55.6%）	759件（77.4%）
合計	133人	981件

図表 62 支援関係者と連携している件数の内訳 該当数：59人 222件

件数	人数	述べ件数
1	41	41
2	6	12
3	2	6
4	1	4
5	2	10
6	1	6
8	1	8
10	1	10
30	1	30
95	1	95
未回答	2	
合計	59	222

Q24-② 回答件数のうち、あなたに対して、支援関係者からのサポートがあると感じる事例はありますか。

見守り支援活動をしている133人のうち、66人(49.6%)が支援関係者からのサポートを感じており、件数は207件(21.1%)となっている。サポートを感じない62人(46.6%)が担当する774件(78.9%)となっている。

図表 63 支援関係者からのサポート状況

該当数：133人

	人数 (割合)	件数
あり	66人 (49.6%)	207件 (21.1%)
なし	62人 (46.6%)	774件 (78.9%)
無回答	5人 (3.8%)	
合計	133人	981件

図表 64 支援関係者からのサポートがある件数の内訳

該当数：66人 207件

件数	人数	述べ件数
1	45	45
2	8	16
3	5	15
4	4	16
5	2	10
10	1	10
95	1	95
合計	66	207

Q24-③ ②であると答えた人は、サポートを受けていると感じることができ  
る場面の全てに○をしてください。

②でないと答えた人は、期待する場面の全てに○をしてください

見守り支援活動をしている 133 人に、支援「サポートを感じる場面」または  
「サポートを期待する場面」を聞いたところ、サポートの有無にかかわらず、「区  
域担当の児童委員との連携」が 65 人（48.9%）で最も多く、次に「定期的な会議」と  
「随時の個別ケース会議」がそれぞれ 32 人（24.1%）と多くなっている。

サポートを感じている人は、全ての項目がほぼ同率であるが、サポートを感じていな  
い人は、定期的または随時の会議開催に対する期待が大きくなっている。

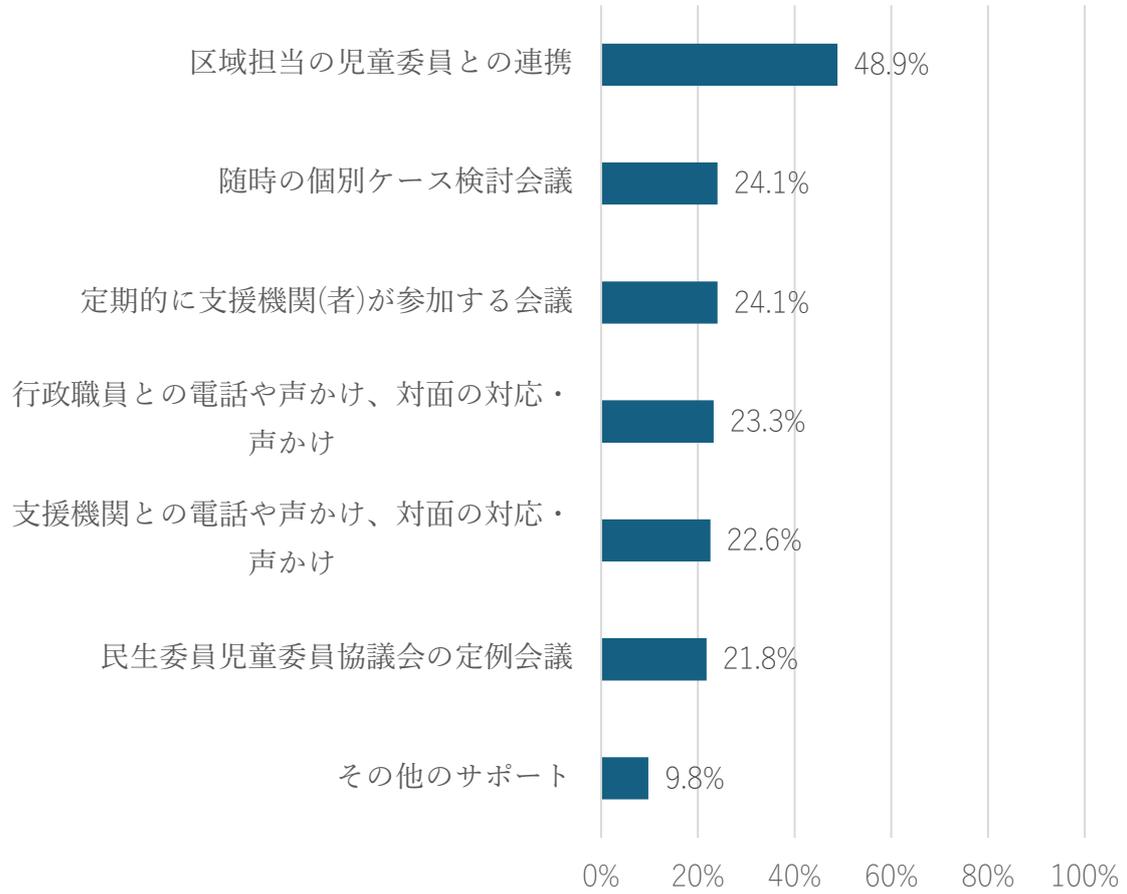
図表 65 サポートを感じる・希望する場面

該当数：133 人

項 目	Q24②サポート状況		合計
	ある	ない	
定期的に支援機関（者）が参加する会議	19	13	32
随時の個別ケース検討会議	17	15	32
行政職員との電話や声かけ、対面の対応・声かけ	23	8	31
支援機関との電話や声かけ、対面の対応・声かけ	24	6	30
民生委員児童委員協議会の定例会議	21	8	29
区域担当の児童委員との連携	41	24	65
その他	9	4	13
SSW、学校職員（教頭先生、担任）			
学校と年 1 回の情報共有			
園職員との情報共有			
母親との相談			

図表 66 サポートを感じる・希望する場面

該当数：133人



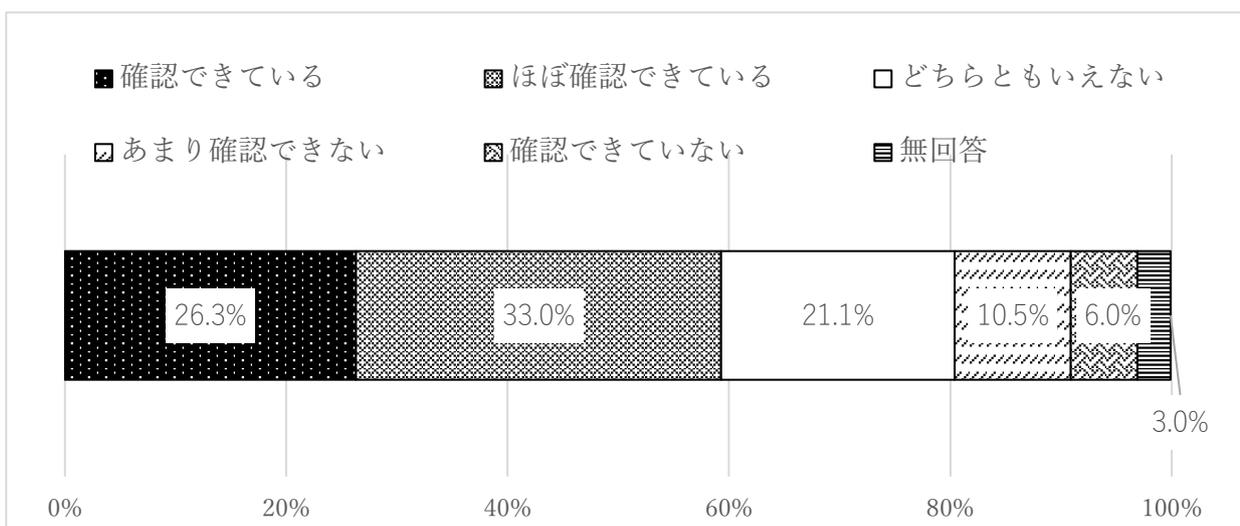
Q24-④ 見守り支援において、支援関係者と協議することで、あなたの役割は確認できていますか。

支援関係者との協議によって、対面支援活動の役割が確認できているか聞いたところ、「確認できている」は35人（26.3%）、「ほぼ確認できている」は44人（33.0%）となっている。「あまり確認できない」と「確認できない」を併せると22人（16.5%）である。

図表 67 見守り支援における役割確認の状況 対象：133人

	人数	割合 (%)
確認できている	35	26.3%
ほぼ確認できている	44	33.0%
どちらともいえない	28	21.1%
あまり確認できない	14	10.5%
確認できていない	8	6.0%
無回答	4	3.0%
合 計	133	99.9%

図表 68 役割確認状況の割合 対象：133人



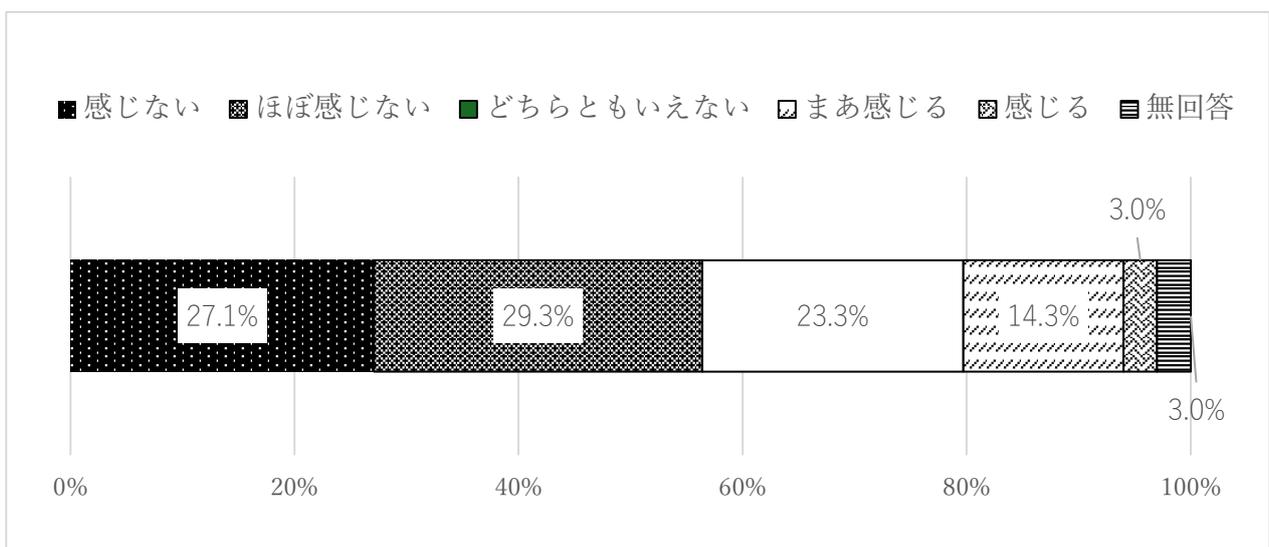
Q24-⑤ 見守り支援において、役割過重（件数が多い、支援の内容が重い等）のストレスを感じますか。

対面支援活動における役割過重のストレスを感じるか聞いたところ、「感じない」は 36 人（27.1%）、「ほぼ感じない」は 39 人（29.3%）となっている。「まあ感じる」「感じる」を併せると 23 人（17.3%）である。

図表 69 見守り支援による役割過重のストレスを感じる状況 該当数：133 人

	人数	割合 (%)
感じない	36	27.1%
ほぼ感じない	39	29.3%
どちらともいえない	31	23.3%
まあ感じる	19	14.3%
感じる	4	3.0%
無回答	4	3.0%
合 計	133	100.0%

図表 70 役割過重のストレスを感じる割合 該当数：133 人



## V 主任児童委員活動と地域づくりについて

### 1 「子育て・子育ての課題」の把握

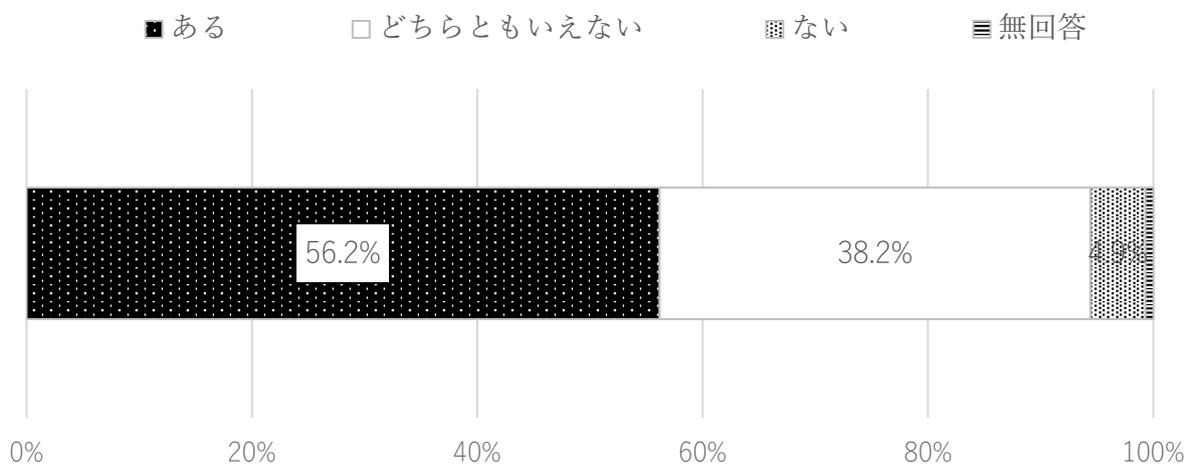
Q25 担当している区域に「子育て・子育ての課題」があると思いますか。

担当している区域に、「子育て・子育ての課題」があるか聞いたところ、「ある」は241人(56.2%)、「ない」は21人(4.9%)、「どちらとも言えない」と「無回答」を併せると167人(38.9%)となっている。

図表 71 子育て・子育ての課題の認識 総数：429人

	人数	割合
ある	241	56.2%
どちらとも言えない	164	38.2%
ない	21	4.9%
無回答	3	0.7%
合計	429	100.0%

図表 72 子育て・子育ての課題の認識 総数：429人



## 2 「子育て・子育ての課題」の解決意欲

Q26 仮に、「子育て・子育ての課題」があるとした場合、様々な関係機関（者）と連携・協働しながら、解決したいと思いますか。

「子育て・子育ての課題」があるとした場合、その解決意欲があるか聞いたところ、「解決したいと思う」は261人（60.8%）、「まあ思う」は130人（30.3%）であり、全体の9割を占める。「あまり思わない」と「思わない」を併せると5人（1.2%）となっている。

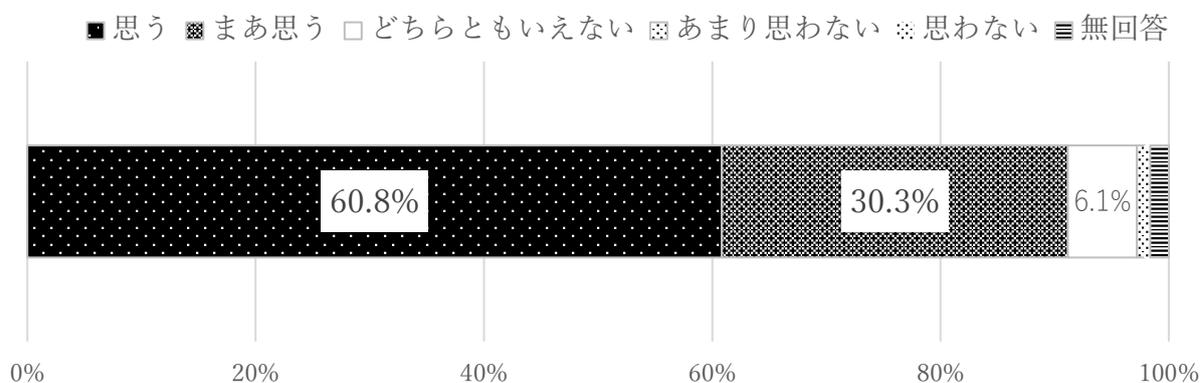
図表 73 課題の解決意欲

総数：429人

項目	人数	割合
思う	261	60.8%
まあ思う	130	30.3%
どちらともいえない	26	6.1%
あまり思わない	3	0.7%
思わない	2	0.5%
無回答	7	1.6%
合計	429	100.0%

図表 74 課題の解決意欲

総数：429人



### 3 個人情報共有と地域づくり活動のつながり

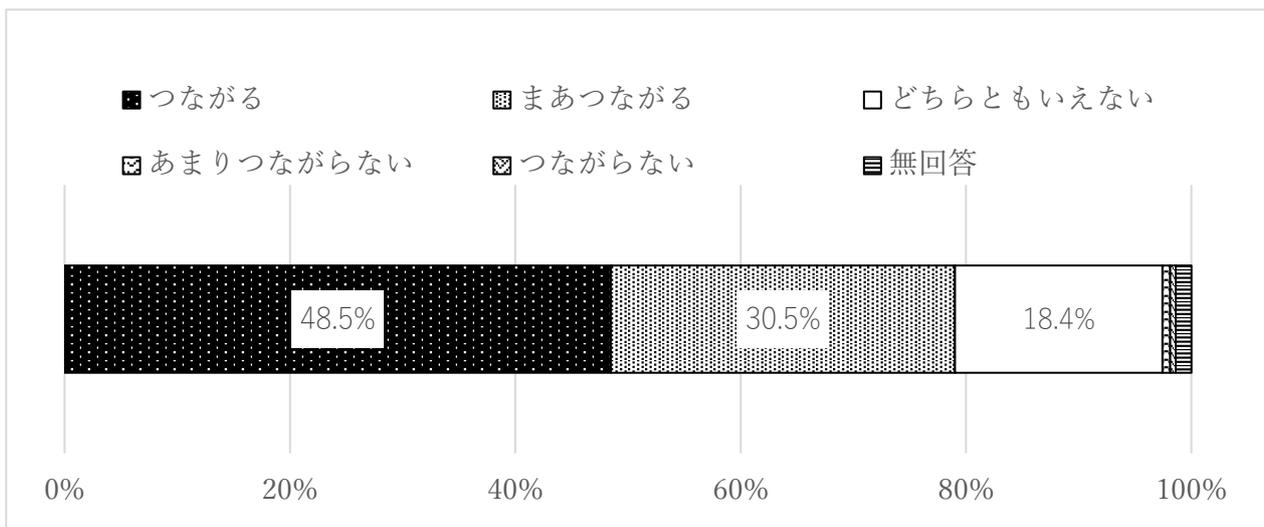
Q27 個人情報の共有は、「子育て・子育てを応援する地域づくりを進める」活動につながると思われますか。

個人情報の共有が、地域づくり活動につながるか聞いたところ、「つながる」は208人（48.5%）、「まあつながる」は131人（30.5%）で、全体の79.0%となっている。「あまりつながらない」と「つながらない」を併せると5人（1.2%）となっている。

図表 75 個人情報の共有と地域づくり活動の関係性 総数：429人

項目	人数	割合
つながる	208	48.5%
まあつながる	131	30.5%
どちらともいえない	79	18.4%
あまりつながらない	3	0.7%
つながらない	2	0.5%
無回答	6	1.4%
合計	429	100.0%

図表 76 個人情報の共有と地域づくり活動の関係性 総数：429人



#### 4 主任児童委員活動に対する考え

Q28 主任児童委員活動について、お考えのことがあればぜひ教えてください。（自由記載）

回答数 429 人中、150 人（35.0%）の回答を分類すると、次の通りである。

（複数回答）

・ 学校との情報連携に関する意見	66 件
・ 「個人情報保護」に対する意見	39 件
・ 情報連携における主任児童委員の役割	36 件
・ 行政機関等との上方連携に関する意見	31 件
・ 情報連携の強化を要望	29 件
・ 小中学校の校長等への意見	10 件
・ SSW,SC に対する要望など	9 件
・ 情報提供後の返事（回答）に関する意見	9 件
・ 社会福祉協議会との情報連携に関する意見	6 件
・ 肯定的（前向き）と感じられる記載内容	13 件

# 主任児童委員の活動に関するアンケート調査報告書

2025年6月

日本福祉大学社会福祉学部 小松理佐子研究室  
〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田  
電話 0569(87)2211 (代)